

- 三 事業ノ效果
- 四 道路管理者ノ意見
- 五 他ノ鐵道、軌道、索道又ハ自動車等（未開業ノモノヲ含ム）ニ及ホス影響
- 六 他ノ鐵道、軌道、索道又ハ自動車等ノ競願アルトキハ其ノ名稱、區間、申請者名及申請書ノ受付年月日

第六條 工事施行ノ認可ヲ受クル前ニ於テ起業目論見書ノ記載事項ヲ變更セムトスルトキハ内務大臣及鐵道大臣ノ認可ヲ受クヘシ但シ商號又ハ名稱、主タル事務所ノ設置地及電力供給者ノ變更ハ之ヲ届出ツヘシ

前項ノ場合ニ於テ記載事項ノ變更カ道路ニ重大ナル關係ヲ有スルトキハ第四條ノ規定ヲ準用ス

第七條 工事施行認可申請書ニハ左ノ書類及圖面ヲ添附スヘシ

- 一 線路實測圖
- 二 工事方法書
- 三 建設費豫算書（第三號様式）
- 四 特許ヲ受ケタル者會社ノ發起人ナルトキハ定款及會社設立登記謄本

第八條 線路實測圖ハ左ノ三種トス

一 平面圖

縮尺ハ二千五百分一以上トシ線路ノ左右各四十米以内ノ地形ヲ明ニシ道路ノ種類、軌道ノ中心線、線路ノ單線複線等ノ分界點ノ杆程、道路水路等ノ附換、人家連檐又ハ連檐スヘキ箇所、行政區劃ノ境界、縮尺及方位ヲ示スヘシ

線路ノ中心線ニハ二百米毎ニ杆程ヲ記シ曲線ノ半徑、交角、停留場ノ位置、名稱及中心杆程ヲ記スヘシ

二 縱斷面圖

縮尺ハ橫平面圖ト同一、縱二百分一以上トシ中心線ノ地盤高及施工基面高ヲ二十米毎ニ記シ隧道ノ長、橋梁溝橋ノ徑間及徑間數、桁ノ種類及材質、停留場ノ名稱及中心杆程、交通頻繁ナル踏切並線路ノ勾配ヲ記シ縮尺ヲ示スヘシ

三 軌道ヲ敷設スル道路ノ橫斷定規圖

軌道ノ中心、車道歩道ノ區別、橫斷勾配、路上建設物ノ位置、車體外有效幅員ヲ記スヘシ

第九條 工事方法書ニハ左ノ事項ヲ記載スヘシ

- 一 動力
- 二 軌間
- 三 單線、複線等ノ別
- 四 軌道中心間隔
- 五 最小曲線半徑及最急勾配
- 六 土工定規(新設軌道ニ限ル)
- 七 橋梁、溝橋
- 八 隧道
- 九 軌條、轉轍器、轍叉及枕木
- 十 停留場
- 十一 踏切ノ構造(圖面ニ依リ明示スルコト)
- 十二 他ノ軌道又ハ鐵道トノ交叉方法
- 十三 閉塞信號機
- 十四 車輛

十五 特殊設計

電氣ヲ動力トスルモノニ在リテハ前項ノ外左ノ事項ヲ記載スヘシ

- 一 送電系統
 - 二 電氣軌道ノ方式
 - 三 發電所、變壓所、蓄電所及配電所
 - 四 送電線路及饋電線路
 - 五 電車線路
 - 六 電氣機關車及電車
 - 七 軌道ノ動力トシテ他ヨリ電力ノ供給ヲ受クル場合
 - (イ) 供給電力ノ電氣方式、最大電壓、容量及受給時間
 - (ロ) 送電上ノ責任分界點、電氣工作物ノ所有權分界點(圖面ニ依リ明示スルコト)
 - (ハ) 受電設備ノ大要(圖面ヲ添附シ説明スルコト)
- 地方鐵道法施行規則第十二條ノ規定ハ前二項ニ規定スル事項ノ記載方法ニ之ヲ準用ス
併用軌道ニ在リテハ前三項ニ規定スルモノヲ除クノ外左ノ事項ヲ記載スヘシ

- 一 道路ノ種類毎ニ區別セル併用軌道ノ延長及其ノ始終點ノ地名、地番
- 二 軌道ノ構造及道路ノ鋪裝(圖面ニ依リ明示スルコト)
- 三 軌道ノ排水設備(圖面ニ依リ明示スルコト)

第十條 地方長官工事施行認可申請書ヲ受付タルトキハ軌道工事ニ關シ關係道路管理者ノ意見ヲ徵シ認可ノ可否ニ關スル意見ヲ附シ之ヲ進達スヘシ

第四條ノ規定ハ前項ノ場合ニ之ヲ準用ス

第十一條 工事施行ノ認可ヲ受ケタル後線路ヲ變更セムトスルトキハ第八條ノ規定ニ準シ線路實測圖(新舊對照圖添附)ヲ、工事方法書ノ記載事項ヲ變更セムトスルトキハ第九條ノ規定ニ準シ變更セムトスル事項ニ關スル工事方法書(停留場ノ變更ニ在リテハ新舊對照圖添附)ヲ作製シ其ノ事由ヲ具シ内務大臣及鐵道大臣ノ認可ヲ受クヘシ

前項ノ認可申請書ニハ工費豫算書ヲ添附シ工費支出ノ途ヲ明ニスヘシ但シ重要ナラサル變更ニ付テハ此ノ限ニ在ラス

第一項ノ場合ニ於テ變更セムトスル事項カ道路ニ重大ナル關係ヲ有スルトキハ第四條ノ規定ヲ準用ス

第一項ノ認可申請書ニシテ運輸開始後ニ於ケル變更ニ關スルモノハ同時ニ其ノ副本ヲ所管鐵道局長ニ提出スヘシ

第十二條 工事施行又ハ前條第一項ノ認可申請書ヲ提出スルトキハ同時ニ軌道敷設ノ爲ニスル道路及河川ノ占用面積圖ヲ地方長官ニ提出スヘシ

工事施行又ハ前條第一項ノ認可アリタルトキハ地方長官其ノ旨ヲ道路又ハ河川管理者ニ通知シ前項ノ占用面積圖ヲ送付スヘシ

第十三條 軌道經營者工事ニ著手シ又ハ之ヲ竣工セシメタルトキハ遲滯ナク地方長官ニ届出ツヘシ

前項ノ届出ヲ受ケタルトキハ地方長官ハ遲滯ナク之ヲ内務大臣及鐵道大臣ニ報告スヘシ

第十四條 地方長官軌道法第八條ノ規定ニ依リ道路管理者ヲシテ工事ヲ執行セシムトスルトキハ道路管理者及軌道經營者ノ意見ヲ徵シ事由ヲ具シ左ノ書類ヲ添附シ内務大臣及鐵道大臣ノ認可ヲ受クヘシ

一 工事設計書

二 工費豫算書

三 工費負擔調書

四 道路ニ關スル費用ヲ負擔スル公共團體ノ當該年度歲入出豫算書

第十五條 地方長官前條ノ認可ヲ受ケタルトキハ工事ノ設計、著手及竣工ノ期限竝工費豫算書ヲ道路管理者ニ示シ工事ヲ執行セシメ軌道經營者ニ之ヲ通知スヘシ

道路管理者工事ヲ竣工セシメタルトキハ遲滞ナク工事竣工調書及工費精算書ヲ作製シ地方長官ニ報告シ軌道經營者ニ通知スヘシ

第十六條 道路管理者軌道法第九條ノ規定ニ依リ軌道敷地ヲ道路敷地ト爲サムトスルトキハ其ノ事由及區間ヲ記載シ工事設計書ヲ添附シ内務大臣及鐵道大臣ノ認可ヲ受クヘシ此ノ場合ニ於テハ道路管理者ハ軌道經營者ノ意見ヲ徵シ之ヲ申請書ニ附記スヘシ

道路管理者前項ノ認可ヲ受ケタルトキハ遲滞ナク道路敷地ト爲スヘキ區間ヲ示シ工事設計書ヲ添附シ其ノ旨ヲ軌道經營者ニ通知スヘシ

第十七條 地方長官運輸開始認可申請書ヲ受付タルトキハ工事ヲ検査シ支障ナシト認めタル場合ニ限り運輸開始ヲ認可スヘシ
軌道經營者運輸ヲ開始シタルトキハ遲滞ナク其ノ旨ヲ内務大臣、鐵道大臣、地方長官及所管鐵道

局長ニ届出ツヘシ

第十八條 第十五條ノ規定ハ軌道法第十二條第二項及第二十四條第二項ノ場合ニ之ヲ準用ス

第十九條 旅客運賃ノ認可申請書ニハ料制ニ在リテハ一料當ノ運賃、區間制ニ在リテハ區間ノ運賃、均一制ニ在リテハ均一運賃及運賃計算ノ方法ヲ記載シ鐵道大臣ニ之ヲ提出スヘシ

前項ノ申請書ニハ料制及區間制ニ在リテハ實測換算中心料程表（第四號様式）營業料程表（第五號様式）及旅客運賃表（第六號様式）ヲ添附スヘシ

第二十條 荷物運賃ノ認可申請書ニハ手荷物、荷物等ヲ區別シ其ノ品種等級ニ依リ料制ニ在リテハ一料當運賃、區間制ニ在リテハ區間ノ運賃、均一制ニ在リテハ均一運賃竝運賃計算ノ方法ヲ記載シ鐵道大臣ニ之ヲ提出スヘシ

荷物運賃ニ關シ別ニ營業料程ヲ制定セムトスルトキハ其ノ増加割合ヲ前項ノ申請書ニ記載シ其ノ計算方法ヲ附記シ荷物營業料程表（第七號様式）ヲ添附スヘシ

第二十一條 旅客運賃又ハ荷物運賃ヲ變更セムトスルトキハ其ノ事由ヲ具シ變更後ニ於ケル收支豫算書ヲ添附シ鐵道大臣ノ認可ヲ受クヘシ

第二十二條 運輸ニ關スル料金ノ認可申請書ニハ其ノ種類及金額ヲ記載シ鐵道大臣ニ之ヲ提出スヘシ

運輸ニ關スル料金ヲ變更セムトスルトキハ其ノ事由ヲ具シ鐵道大臣ノ認可ヲ受クヘシ

第二十二條ノ二 前四條ノ認可申請書ハ所管鐵道局長ヲ經由スヘシ此ノ場合ニ於テハ同時ニ其ノ副本ヲ地方長官ニ提出スヘシ

第二十三條 前五條ノ規定ニ依リ認可ヲ受ケタル運賃又ハ料金ヲ實施シタルトキハ遲滯ナク其ノ月日ヲ鐵道大臣及地方長官ニ届出ツヘシ

第二十四條 運轉速度及度数ノ認可申請書ニハ運轉速度及度数表(第八號様式)ヲ添附シ鐵道大臣ニ之ヲ提出スヘシ

前項ノ規定ニ依リ認可ヲ受ケタル運轉速度ヲ増加シ又ハ度数ヲ變更セムトスルトキハ其ノ事由ヲ具シ鐵道大臣ノ認可ヲ受クヘシ

前二項ノ規定ニ依リ認可ヲ受ケタル事項ヲ實施シタルトキ及發著時刻ヲ變更シタルトキハ發著時刻表(第八號様式ノ二)ヲ添附シ遲滯ナク其ノ月日ヲ鐵道大臣及地方長官ニ届出ツヘシ

第二十四條ノ二 前條ノ規定ニ依リ認可申請書ニ付テハ其ノ副本ヲ所管鐵道局長ニ提出シ前二條ノ規定ニ依リ届書ニシテ鐵道大臣ニ提出スヘキモノハ所管鐵道局長ヲ經由シ之ヲ提出スヘシ

第二十五條 軌道法第十八條第一項ノ規定ニ依リ買收ノ認可申請書ニハ左ノ書類ヲ添附スヘシ

- 一 買收ノ事由書
- 二 買收物件ノ範圍ニ關スル調査
- 三 買收價格算出説明書
- 四 買收ニ關シ軌道經營者ト爲シタル交渉ノ顛末書
- 五 買收代價支拂ニ關スル説明書(支拂ノ方法、時期等ヲ記載スルコト)
- 六 買收ニ關スル公共團體ノ議會ノ決議書謄本
- 七 買收後ニ於ケル軌道事業計畫書及收支豫算書
- 八 公共團體ノ當該年度歳入出豫算書

第二十六條 車輛ノ衝突、顛覆其ノ他旅客ニ死傷ヲ生シタル重大ナル運轉事故ハ即時電信、電話又ハ口頭ヲ以テ内務大臣、鐵道大臣、地方長官及所管鐵道局長ニ報告スルノ外七日以内ニ第九號様式ニ依リ内務大臣、鐵道大臣、地方長官及所管鐵道局長ニ之ヲ届出ツヘシ

前項以外ノ事故ハ一月分ヲ取纏メ翌月十五日限り第十號様式ニ依リ地方長官及所管鐵道局長ニ之ヲ届出ツヘシ

第二十七條 地方鐵道法施行規則第三條、第八條、第十三條、第十五條、第二十條、第二十一條第一項第二項、第二十二條、第二十五條第一項本文第二項、第二十六條、第三十條乃至第三十三條、第四十五條、第四十六條、第四十八條乃至第四十九條、第五十一條乃至第五十六條ノ規定ハ之ヲ軌道ニ準用ス但シ鐵道大臣トアルハ内務大臣及鐵道大臣トシ第二十一條第一項但書及第二十五條第二項但書中所管鐵道局長トアルハ地方長官トス

前項ニ於テ準用スル地方鐵道法施行規則第二十一條第一項第二項及第二十五條第一項本文第二項但書ノ規定ニ依リ申請書又ハ届書ヲ提出スル場合ニハ同時ニ其ノ副本ヲ所管鐵道局長ニ、第四十八條及第四十八條ノ二ノ規定ニ依リ届書ヲ提出スル場合ニハ同時ニ其ノ副本ヲ地方長官ニ提出スヘシ但シ第二十一條第一項第二項及第二十五條第一項本文ノ場合ニ在リテハ運輸開始後ニ於ケルモノニ限ル

地方鐵道法施行規則第十八條ノ規定ハ新設軌道ニ之ヲ準用ス但シ所管鐵道局長トアルハ内務大臣、鐵道大臣及地方長官トス

前項ノ規定ニ依リ届書ヲ提出スル場合ニハ運輸開始後ニ於ケルモノニ限リ同時ニ其ノ副本ヲ所管鐵道局長ニ提出スヘシ

第二十八條 地方鐵道法施行規則第二十條但書ノ場合ニ於テ内務大臣ニ提出スル申請書ニハ地方鐵道ノ車輛ニ限リ機關車ニ在リテハ重量、主要寸法(圖面ヲ除ク)、制動機ノ種類及裝置ヲ、客車及貨車ニ在リテハ車種、輛數、自重、定員、定員一人ニ對スル客室面積、積載容積及荷重、最大寸法、固定輪軸距、制動機ノ種類及裝置並汽動車、電氣機關車及電車ニ關スル事項ヲ記載スヘシ地方鐵道法施行規則第二十六條ノ認可申請ニ付亦同シ

第二十九條 軌道法又ハ本令ノ規定ニ依ル特許、許可及認可申請書並届書ニシテ内務大臣又ハ鐵道大臣ニ提出スヘキモノハ別段ノ定アル場合ヲ除クノ外軌道ヲ敷設スル地ヲ管轄スル地方長官ヲ經由スヘシ但シ二府縣以上ニ互リ敷設スル軌道ニ在リテハ事件カ二府縣以上ニ關スル場合ニ限リ其ノ起點所在地ヲ管轄スル地方長官ヲ經由スヘシ前項但書ノ場合ニ於テ申請書又ハ届書ヲ受付ケタル地方長官ハ關係地方長官ニ商議スヘシ

附則 (大正十二年十二月内務、鐵道省令)

本令ハ軌道法施行ノ日ヨリ之ヲ施行ス(大正十三年一月一日ヨリ施行)

從來爲シタル處分、手續其ノ他ノ行爲ハ本令中之ニ相當スル規定アル場合ニ於テハ本令ニ依リテ之ヲ爲シタルモノト看做ス

附則 (昭和四年十二月内務、鐵道省令)

本令ハ昭和四年法律第六十一號施行ノ日ヨリ之ヲ施行ス(十二月五日ヨリ施行)

附則 (昭和五年六月内務、鐵道省令)

本令ハ昭和五年九月一日ヨリ之ヲ施行ス

本令施行前内務大臣、鐵道大臣及地方長官ニ於テ受付ケタル書類及圖面ニ付テハ從前ノ規定ニ依ル

コトヲ得

附則 (昭和十四年三月内務、鐵道省令)

本令ハ昭和十五年四月一日ヨリ之ヲ施行ス

本令施行前内務大臣、鐵道大臣及地方長官ニ於テ受付ケタル申請書及屆書ニ付テハ仍從前ノ規定

ニ依ルコトヲ得

(様式)

第一號様式

間建設費概算書

項	數	軌道		摘要
		量	價金	
測量及監督費	延長	單價	金額	
用地費	平方	米	圓	
土工費	立方	米	圓	
路面費	平方	米	圓	
橋梁溝橋費		米	圓	
隧道費		米	圓	
軌道費		米	圓	
停留場費		箇所	圓	
車輛費		輛	圓	
諸建物費		軒	圓	
通信線路費		軒	圓	
電力線路費		軒	圓	
發電所費		キロワット	圓	
變電所費		キロワット	圓	
總係費		軒	圓	
豫備費			圓	
合計			圓	
一軒當			圓	

備考 用地費、土工費、橋梁溝橋費、隧道費及軌道費ニ在リテハ併用軌道及新設軌道ニ區別記載スヘシ

運輸
延長
米
間
軌區

旅
人
一
荷
一
旅
一
荷
一
雜
收
一
營
一
益
建
設
費
= 對
新
一
新
一
新
一
收
一
業
一
設
ス
ル

日
客
日
物
日
入
日
日

第三號様式

間建設費豫算書

延長

米

軌道

項目	日数	量	平均 単價	金高	合計	項目	口	数	平均 単價	金高	合計
測 量 及 費						溝 橋 費					
用 地 費	線 路 用 地	平 方 米				開 渠	箇 所				
	道 路 用 地	"				暗 渠	"				
	停 留 場 用 地	"				伏 樋 費	料				
	川 道 附 替 用 地	"				停 留 場 費					
	發 電 所 用 地	"				何 停 留 場 外 何 箇 所					
	變 電 所 用 地	"				車 輛 費	汽 汽 (電 氣) 機 關 車 (電 動) 客 車 (附 隨) 貨 車 (附 隨)	輛			
	雜 費	"									
		"									
		"									
	土 工 費	線 路 切 取 立	方 米				器 械 費	料			
線 路 築 堤		"				諸 建 物 費	"				
川 道 附 換		"				運 送 費	"				
路 切 道		"				建 築 用 具 費	"				
土 留 石 垣		平 方 米				脚 瓦 及 境 界 杭 費	"				
						酒 信 線 路 費	"				
						電 力 線 路 費					
橋 梁 費	何 川 橋 梁	米				送 電 線	料				
	何 川 拱 橋	"				電 氣 信 號	"				
	何 川 外 何 箇 所	"				工	費				
						變 電 所 費	キ ロ ワ ツ ト				
						總 係 費					
隧 道 費	何 隧 道 外 何 箇 所	米				豫 備 費					
						合 計					
						一 新 當					
軌 道 費	軌 條 及 附 屬 品	料									
	轉 轍 器 及 軌 叉	組									
	枕 木	挺									
	道 床	料									
	敷 設	"									

備考 建設資金出資ノ方法ヲ記載スヘシ

第四號様式

實測換算中心籽程表

停 留 場 名	籽 程	摘 程	粟 程
	0. 41320		
	0. 511		
	1. 239		

軌 道

- 備考 1 籽程ハ小数點以下第三位ニ止メ第四位ハ四捨五入ヲ爲シ計上スヘシ
 2 停留場名ニハ振假名ヲ附シ摘要欄ニ所在地(府縣郡市町村大字名)ヲ記載スヘシ

軌道法施行規則

第六號様式

旅客運賃表

軌道法施行規則

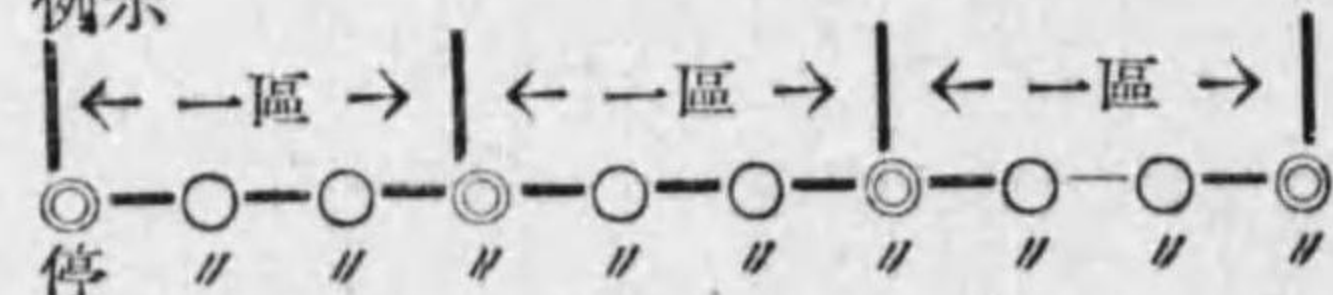
軌道

停車場 留名	3	7	13	17																				
	停車場 留名	5	11	15																				
		停車場 留名	7	10																				
			停車場 留名	4																				
				停車場 留名																				

備考

- 1 運賃表ハ各等別ニ調製スヘシ
- 2 區間制運賃ニ在リテハ下ノ例示ニ依リ運賃區間ノ停留場名ヲ標示スヘシ

例示



- 3 秆制運賃ニ在リテハ地方鐵道法施行規則附屬第十二號様式ニ準シ一秆當ノ運賃ヲ表示スヘシ

第五號様式

營業秆程表

軌道法施行規則

軌道

停車場 留名	秆 0.9	2.6	5.1	6.6																				
	停車場 留名	1.7	4.2	5.7																				
		停車場 留名	2.5	4.0																				
			停車場 留名	1.5																				
				停車場 留名																				

備考

- 1 營業秆程ハ小數點以下第一位ニ止メ第二位以下ハ四捨五入ヲ爲シ計上スヘシ
- 2 起點停留場ト他ノ停留場トノ營業秆程ハ第四號様式所載各停留場ノ實測換算中心秆程ヨリ起點停留場ノ實測換算中心秆程ヲ控除シ殘餘ノ秆程ヲ換算スヘシ
- 3 起點停留場ニ非サル各停留場相互間ノ營業秆程ハ前號ノ營業秆程ヲ差引算出スヘシ
- 4 支線ノ營業秆程ハ前各號ニ依リ算出シ支線各停留場ト幹線各停留場相互間ノ營業秆程ハ各停留場ヨリ分歧點ニ至ル營業秆程ヲ合計シ順次記載スヘシ

荷物營業料程表

軌道

停留場名	2	4	8	10								
停留場名	3	7	9									
停留場名	4	6										
停留場名	3											
停留場名												
停留場名												

支線

備考 荷物營業料程ハ第五號樣式ニ依ル營業料程表ノ各停留場間營業料程ヲ割増シ計算上生シタル端數ノ取捨ヲ説明スヘシ

運轉速度及度數表

軌道

停留場 間	料 程	速 度		度 數		總計 最大 最小
		(車輛ノ種別) 運轉 時 均 度		(車輛ノ種別) 最 大 最 小		
停留場名—停留場名	料					

備考 1、 料程ハ總テ營業料程ヲ以テ記載スヘシ 2、 停留場名ハ一運轉系統ニ於ケル平均速度十六料以下ナルトキハ兩端停留場名ヲ、十六料ヲ超スルトキハ各停留場名ヲ記載スヘシ 3、 速度及度數ハ旅客(急行又ハ普通)及混合等車輛ノ種別アル場合ニハ各別ニ記載スヘシ 4、 運轉時分ハ停車時分ヲ除キ車輛ニ依リ同一區間ノ運轉時分ヲ異ニスルトキハ最小時分ニ依リ記載スヘシ

軌道法施行規則 11011

第八號様式ノ二

發 著 時 刻 表

軌 道

下 1 混前	3 客前	21 貨後	5 客後	累計 行程	停留 場名	區間 行程	上	
							2 混前	※ 午
11.20						0.9		
	24			0.9		1.7		
	25					2.5		
	—			2.6		2.5		
	31			5.1		1.5		
	40 × 42			6.6		2.1		
	47			8.7		2.4		
	48					2.4		
	—			11.1		2.6		
	55			13.7		2.4		
	12.03			16.1				
	05							
	14							
	15							
	22							
	23							

備 考

1. 行程ノ總テ營業行程ヲ以テ記載スヘシ
2. 符號ヲ以テ車輛運行ノ種別ヲ示ストキハ欄外ニ其ノ凡例 (例※印ハ不定期車輛ノ如キ) ヲ記載スヘシ
3. 時刻ハ上段ヲ著、下段ヲ發 (上リ車輛ハ其ノ反對) トスヘシ
4. 通過車輛ハ發時刻ノミヲ記載シ著時刻ノ段ニ——ヲ記入スヘシ
5. 車輛カ行違ヲ爲ス著時刻ニハ×印ヲ附スヘシ
6. 停車時間一分未滿ノ場合ニハ著發共同一時分ヲ記載シ欄外ニ「著發同時分ヲ記載セルモノハ發時刻何秒前ニ到著スルモノトス」ト記載スヘシ
7. 支線ノ時刻ハ別ニ記載スヘシ
8. 等間隔時分ヲ以テ運轉スル場合ニ在リテハ最初ノ上下各一箇車輛ノ發著時刻ヲ明記シ (間隔時分ヲ異ニスル毎ニ各別ニ) 其ノ他ノ車輛ノ發著時刻ノ記載ヲ省略スルコトヲ得
9. 本表ハ各運轉系統ニ於ケル始發終發時刻及停車時分ヲ記載シ (成ルヘク運轉系統圖ヲ添附スルコト) 之ニ代フルコトヲ得

第九號様式(半紙判形)

年 月 日

軌道法施行規則

二〇四

宛名
事故届

事故ノ種類及原因	發生日時分	場所	當該車輛	現場ノ狀況及當時ノ處置	損害ノ程度	進行停止時間	當務者處分ノ顛末

備考

- 一、事故ノ種類ハ左ノ如ク區別シテ之ヲ記載スヘシ
 車輛ノ衝突 衝突シタル車輛ノ種類及衝突ノ種別ヲ記載スヘシ
 車輛ノ接觸 同 上

脱線 車輛ノ種類ヲ記載スヘシ

顛覆 同 上

傾倒 同 上

車輛ノ分離 同 上

車輛ノ異線進入 同 上

車輛ノ不良 車輛ノ種類及其ノ輛數ヲ記載スヘシ

車輛逸走 同 上

線路障害 天災事變ニ因リ車輛運轉ニ支障ヲ及ホシタル事項ヲ記載スヘシ

車輛妨害 故意ニ車輛ノ運轉ヲ支障シタル一切ノ事項ヲ記載スヘシ

電氣設備ノ故障 車輛ノ運轉ニ支障ヲ及ホシタル事項ヲ記載スヘシ

火災 車輛、建造物及沿線被害物ノ種類ヲ記載スヘシ

死傷 乗客、係員及公衆ニ區別シ記載スヘシ

二、場所ハ停留場名又ハ起點ヨリノ料程(何停留場間ヲ記載スヘシ)

三、當該車輛ハ其ノ種類及番號ヲ記載スヘシ

四、現場ノ狀況及當時ノ處置ハ詳細ニ説明シ必要ニ依リ圖面ヲ添附スヘシ

五、當務者處分ノ顛末ハ解職、降職、減給、譴責等ノ別ニ依リ記載スヘシ但シ處分未了ノ場合ハ其ノ旨ヲ附記シ處分終了ト同時ニ之ヲ追報スヘシ

軌道法第二十五條ノ規定ニ依ル職權委任ニ關スル件

第十號様式(半紙判形)

年 月 日

軌道代表者

宛 名

月分事故届

事故ノ種類及原因	日發 時生	場 所	車當 輛該	現場ノ狀況及損害ノ程度	進行停 止時間	當務者處 分ノ顛末

備考 第九號様式備考ニ同シ

○軌道法第二十五條ノ規定ニ依ル職權委任ニ關スル件

(大正十二年十二月
内務、鐵道省令)

改正(昭四、一二 同五、六
内、鐵 令 同)

第一條 人力又ハ馬力ヲ動力トスル軌道ニ關スル事項ニシテ左ニ掲クルモノハ之ヲ地方長官ニ委任ス

- 一 工事施行及工事方法ノ變更
 - 二 運賃並料金ノ制定及其ノ變更
 - 三 運轉速度及度數ノ制定及其ノ變更
- 前項第一號ノ規定ニ依リ處分ヲ爲シタルトキハ線路實測圖並動力、軌間、單線複線等ノ別ヲ具シ内務大臣及鐵道大臣ニ、第二號ノ規定ニ依リ處分ヲ爲シタルトキハ書類並運賃、料金ヲ具シ其ノ處分ノ月日ヲ鐵道大臣ニ報告スヘシ

第二條 人力又ハ馬力ヲ動力トセサル軌道ニ關スル事項ニシテ左ニ掲クルモノハ之ヲ地方長官ニ委任ス

- 一 認可ヲ受ケタル工事方法ノ變更ニシテ左ニ該當スルモノ
- イ 道路上ニ於ケル軌道中心線ノ變更ニシテ一米以内ナルトキ
- ロ 道路上ニ於ケル軌道面高低ノ變更ニシテ六十糎以内ナルトキ
- ハ 道路上ニ於ケル曲線半徑ヲ長カラシムルトキ若ハ三十米迄短縮スルトキ

軌道法第二十五條ノ規定ニ依ル職權委任ニ關スル件

軌道法第二十五條ノ規定ニ依ル職權委任ニ關スル件

二一〇

- ニ 道路上ニ於ケル勾配ヲ緩ナラシムルトキ又ハ千分ノ三十三迄急ナラシムルトキ
- ホ 道床ニ關スル工事
- ハ 軌道ノ排水設備ニ關スル工事
- ト 枕木ノ寸法ヲ増大シ又ハ枕木敷設間隔ヲ縮小スル工事
- チ 軌條(附屬品ヲ含ム)重量ノ増加
- リ 涉線ニ關スル工事(既認可ノ轉轍器又ハ轍又ト異ルモノヲ使用スル場合ヲ除ク)
- ヌ 既認可ト同一設計ノ轉轍器又ハ轍又ヲ使用スル引込線、側線(避難線及道路上ニ於ケル貨物側線ヲ除ク)及待避線ニ關スル工事
- ル 踏切道ノ改良ニ關スル工事
- ヲ 認可ヲ得タル設計ト同一設計ニ依ル橋梁又ハ溝橋ニ關スル工事
- ワ 停留場ニ於ケル建造物ニ關スル工事(保安設備ヲ除ク)
- カ 併用軌道ニ於タル停留場ノ新設、名稱、位置及配線ノ變更(既認可ノ轉轍器又ハ轍又ト異ルモノヲ使用スル場合ヲ除ク)
- ヨ 使用期間六箇月ヲ超エサル假線敷設ニ關スル工事

タ 假線使用期限ノ伸長

レ 車庫ニ關スル工事

ソ 電線路(補助歸線ヲ含ム)ノ互長及延長ノ増加ニ關スル工事

ツ 饋電方法ノ變更ニ關スル工事

二 運轉速度及度数ノ制定及其ノ變更

前項第一號ノ規定ニ依リ處分ヲ爲シタルトキハ書類及圖面ヲ具シ内務大臣及鐵道大臣ニ、第二號ノ規定ニ依リ處分ヲ爲シタルトキハ運轉速度及度数表ヲ具シ其ノ處分ノ月日ヲ遲滯ナク鐵道大臣ニ報告スヘシ

第三條 人力又ハ馬力ヲ動力トセサル軌道ニ關スル事項ニシテ左ニ掲クルモノハ之ヲ鐵道局長ニ委任ス

一 運賃ノ臨時割引

二 運輸ニ關スル料金ノ變更

前項ノ規定ニ依リ處分ヲ爲シタルトキハ運賃及料金ヲ具シ其ノ處分ノ年月日ヲ鐵道大臣ニ報告ス

軌道法第二十五條ノ規定ニ依ル職權委任ニ關スル件

二一一

ヘシ

附則

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

本令公布前鐵道大臣又ハ地方長官ニ於テ受付ケタル申請書ニ付テハ仍從前ノ規定ニ依ルコトヲ得

○軌道運輸規程

大正十二年十二月二十九日
鐵道省令第四號

改正 (昭五、二 昭一、二、六 昭一、二、四 同 一、四、八
鐵令一 同 同 同 同 一、一)

第一章 總則

第一條

軌道ノ運輸ハ本令ノ定ムル所ニ依ルヘシ但シ特別ノ事由アル場合ニ於テハ鐵道大臣ノ許可ヲ受ケ本令ニ依ラサルコトヲ得
鐵道大臣ハ軌道ノ狀況ニ依リ本令ニ依ラサル特別ノ運輸ヲ命スルコトヲ得

第二條

運賃、料金其ノ他ノ運送條件ハ公告ヲ爲シタル後ニ非サレハ之ヲ實施スルコトヲ得ス
運賃又ハ料金ノ増加ヲ爲サムトスル場合ニ於テハ前項ノ公告ハ二週間以上之ヲ爲スコトヲ要ス

第三條

軌道ハ見易キ場所ニ客車ノ運轉時刻表又ハ運轉系統並運賃表ヲ揭示スヘシ

第四條

停留場ニハ見易キ場所ニ其ノ名稱ヲ示スヘシ

第五條

鐵道營業法第六條及第十四條、鐵道運輸規程第二條ノ規定ハ軌道ノ運輸ニ付之ヲ準用ス

第二章 旅客運送

第六條

旅客ノ同伴スル六年未滿ノ小兒ハ旅客一人ニ付少クトモ一人迄無賃ヲ以テ之ヲ運送スヘシ

割引乗車券ヲ以テ乗車スル旅客又ハ特ニ乗車位置ノ指定ヲ爲ス車輛ニ乗車シ小兒ノ爲其ノ指定ヲ

請求スル旅客ニ付テハ鐵道大臣ノ認可ヲ得テ前項ノ規定ニ依ラサルコトヲ得

十二年未滿ノ小兒ハ第一項ノ規定ニ依リ無賃運送ヲ爲スモノヲ除キ半賃金ヲ以テ之ヲ運送スヘシ

但シ主トシテ市街地内ノ運輸ヲ目的トスル軌道及均一運賃制ヲ採ル軌道ハ此ノ限ニ在ラス

小兒無賃運送ノ員數ヲ限定スルトキ又ハ第二項ノ規定ニ依リ其ノ無賃運送ヲ爲ササルトキハ見易キ場所ニ其ノ旨ヲ表示スルコトヲ要ス

第七條 旅客ハ市街地ヲ運轉スル客車内ニ於テハ喫煙ヲ爲スヘカラス軌道カ指定スル客車内モ亦同シ

第八條 旅客ハ軌道係員ヨリ乗車券ノ検査及取集ヲ求メラレタルトキハ之ヲ拒ムコトヲ得ス無効ノ乗車券ヲ以テ乗車シタル旅客ニ對シテハ普通運賃ノ倍額ヲ請求スルコトヲ得

第九條 (削除)

第十條 鐵道運輸規程第十六條及第三十三條乃至第三十五條ノ二ノ規定ハ軌道ノ旅客運送ニ付之ヲ準用ス

第三章 荷物運送

第十一條 長尺物、重量品、潤大品、危害ヲ他ニ及ホス虞アル物品、臭氣ヲ發シ若ハ不潔ナル物品ハ旅客ト同一車輛ヲ以テ之ヲ運送スルコトヲ得ス

第十二條 軌道ハ火藥類其ノ他爆發質危險品ヲ運送スルコトヲ得ス

第十三條 死體ヲ託送セムトスル者ハ死亡證書ヲ呈示シ其ノ寫ヲ提出スヘシ

死體ノ運送ニハ託送人ニ於テ附添人ヲ附シ之カ積卸ヲ爲サシムヘシ

第十四條 犬其ノ他ノ小動物ハ逸出ノ虞ナキ容器ニ容ルルニ非サレハ之ヲ託送スルコトヲ得ス

第十五條 運送狀ノ交付ヲ請求セサル荷物ノ到達後六時間内ニ引取ラサルトキハ保管料ヲ請求スルコトヲ得

第十六條 鐵道營業法第七條乃至第十條、第十三條乃至第十三條ノ三、鐵道運輸規程第五十八條、

第六十二條、第六十五條、第七十二條、第八十五條、第八十五條ノ二、第八十八條乃至第九十二條、第九十四條、第九十七條、第九十八條、第百條、第百二條ノ七及第百二條ノ八、明治四十二年閣令第十一號ノ規定ハ軌道ノ荷物運送ニ付之ヲ準用ス但シ鐵道營業法第十三條中引渡期間滿了後トアルハ人力、馬力ノミヲ以テ動力ト爲ス軌道ニ付テハ引渡ヲ爲スヘカリシ日後トス

鐵道營業法第十一條及第十一條ノ二、鐵道運輸規程第百二條ノ二乃至第百二條ノ四ノ規定ハ人力、馬力ノミヲ以テ動力ト爲ス軌道ノ託送手荷物及動物運送ニ付之ヲ準用ス

第四章 罰則

第十七條 運送品ノ種類及性質ヲ詐稱シタル者ハ科料ニ處ス

第十八條 左ノ各號ノ一ニ該當スル者ハ百圓以下ノ罰金ニ處ス

一 火藥類其ノ他爆發質危險品ノ種類及性質ヲ詐稱シタル者

二 火藥類其ノ他危害ヲ他ニ及ボス虞アル物品ヲ客車内ニ持込ミタル者但シ少量ノ銃用火藥類及

緩燃導火線ヲ携帯スル場合ハ此ノ限ニ在ラス

第十九條 軌道係員ノ制止ニ反シ左ノ所爲ヲ爲シタル者ハ三十圓以下ノ罰金又ハ科料ニ處ス

一 客車ノ乗降口以外ヨリ乗降シタルトキ

二 旅客ノ乗用ニ供セサル場所ニ乗車シタルトキ

三 喫煙禁止ノ車内ニ於テ喫煙シタルトキ

第二十條 軌道係員ノ許諾ヲ受ケスシテ新設軌道内ニ立入りタル者ハ科料ニ處ス踏切番人ノ制止ニ

反シ踏切道ニ立入りタル者亦同シ

第二十一條 前二條ノ罪ヲ犯シ又ハ車内ニ於テ秩序ヲ紊ルモノアルトキハ軌道係員ハ之ヲ車外又ハ

軌道地外ニ退去セシムルコトヲ得

第二十二條 軌道係員職務取扱中旅客若ハ公衆ニ對シ失行アリタルトキハ科料ニ處ス

附則

本令ハ大正十三年二月一日ヨリ之ヲ施行ス

從來爲シタル處分、手續其ノ他ノ行爲ハ本令中之ニ相當スル規定アル場合ニ於テハ本令ニ依リテ之ヲ爲シタルモノト看做ス

附則 (昭和十一年六月鐵道省令第二號)

本令ハ昭和十一年十月一日ヨリ之ヲ施行ス

○軌道建設規程

大正十二年十二月二十九日
內務、鐵道省令

改正 (昭五、六
內、鐵令)

第一章 總則

第一條 軌道ノ建設ハ本令ノ定ムル所ニ依ルヘシ

第二條 車輛ノ運轉ニ常用スル線路ヲ本線路ト謂ヒ其ノ他ノ線路ヲ側線ト謂フ

軌道建設規程

第三條 道路上其ノ他公衆ノ通行スル場所ニ敷設スル軌道ヲ併用軌道ト謂ヒ其ノ他ノ軌道ヲ新設軌道ト謂フ

第二章 線路及建造物

第一節 軌間及輪縁路

第四條 軌間ハ直線ニ於テ軌條頭ノ内側ヨリ内側迄ノ距離ニ依リ之ヲ測定ス

第五條 軌間ハ七百六十二耗、一米〇六七、一米四三五ト爲スヘシ

第六條 併用軌道ノ曲線ニ於テ軌間ニ擴度ヲ付スル場合ハ左ノ制限ニ依ルヘシ

- 一 軌間一米〇六七若ハ一米四三五ニシテ曲線ノ半徑百二十米以下ノモノニ在リテハ二十五耗以內
- 二 軌間七百六十二耗ニシテ曲線ノ半徑六十米以下ノモノニ在リテハ十三耗以內

第七條 輪縁路ハ車輛ノ輪縁ニ對シ適當ノ大サヲ有セシムヘシ

市街地ニ於ケル併用軌道ニシテ交通特ニ頻繁ナル箇所、轉轍器又ハ轍又ヲ設置スル箇所ニ在リテハ溝軌條ヲ用キ若ハ之ニ準スヘキ施設ヲ爲スヘシ

第二節 軌道定規

第八條 併用軌道ハ道路ノ中央ニ之ヲ敷設シ左ニ掲クル車體外有效幅員ヲ存セシムヘシ

道路ノ種別	車道歩道ノ區別アル道路ノ車道各側		車道歩道ノ區別ナキ道路各側	
	兩側人家連櫓又ハ連櫓スヘキ場所	其ノ他ノ場所	兩側人家連櫓又ハ連櫓スヘキ場所	其ノ他ノ場所
特ニ主要ナル街路	八米一八以上			
主要ナル街路	四米五五以上			
特ニ主要ナル國道	四米五五以上			
主要ナル國道	三米六四以上			
特ニ主要ナル府縣道及市町村道			三米六四以上	
主要ナル府縣道及市町村道				

第九條 街路、特ニ主要ナル國道、主要ナル國道及特ニ主要ナル府縣道ヲ除ク他ノ道路ニ於テハ左ニ掲クル車體外有效幅員ヲ存シ軌道ヲ其ノ一方ニ偏シテ敷設スルコトヲ得

道路ノ種別	車道歩道ノ區別ナキ道路	
	兩側人家連櫓又ハ連櫓スヘキ場所	其ノ他ノ場所

町市府 村	道道道	一	側	他ノ	一側	一	側	他ノ	一側
		四米五五以上	二米七三以上	四米五五以上	一米二八以上	一米二八以上	一米二八以上	一米二八以上	一米二八以上
町市府 村	道道道	三米六四以上	一米八二以上	三米六四以上	〇米九一以上	三米六四以上	〇米九一以上	〇米九一以上	〇米九一以上

第十條 本線路ニ於テハ並行セル兩軌道中心ノ間隔ハ車輛ノ最大幅員ニ四百耗ヲ加ヘタルモノヨリ小ナルコトヲ得ス

本線路ニ於テハ車輛ト中央柱其ノ他ノ工作物トノ間隔ハ二百三十耗ヨリ小ナルコトヲ得ス

本線路ノ曲線ニ於テハ前二項ニ規定スル間隔ハ之ニ兩車輛ノ偏倚スル寸法ヲ加ヘタルモノヨリ小ナルコトヲ得ス

第十一條 併用軌道ニ於テハ軌條間ノ全部及左右各六百十耗ハ其ノ軌道ヲ敷設スル道路ノ路面ト同一構造トシ軌條面ト道路面ト高低ナカラシムヘシ

第三節 電車柱、排水設備及地下工作物ニ對スル防備

第十二條 道路ニ建設スル電車柱ハ特別ノ事由アル場合ヲ除クノ外之ヲ側柱式ト爲スヘシ
側柱ハ車道歩道ノ區別アル箇所ニ於テハ歩道ノ車道側ニ之ヲ建設スヘシ

中央柱式ニ依ル電車柱ニハ點燈ノ設備ヲ爲スヘシ

第十三條 併用軌道ニ於テハ排水ノ設備ヲ爲スヘシ

第十四條 軌道ヲ地下工作物ト交叉又ハ接近シテ敷設スル爲其ノ工作物ヲ防護スル必要アルトキハ適當ノ設備ヲ爲スヘシ

軌道ハ人孔、制水瓣等ノ操業ニ障礙ヲ與ヘサル適當ノ距離ヲ存シ之ヲ敷設スヘシ

第四節 曲線及勾配

第十五條 本線路ノ曲線半徑ハ十一米ヨリ小ナルコトヲ得ス

第十六條 本線路ノ勾配ハ千分ノ四十ヨリ急ナルコトヲ得ス但シ特殊ノ箇所ニ於テハ千分ノ六十七迄ト爲スコトヲ得

停留場ニ於ケル本線路ノ勾配ハ千分ノ十ヨリ急ナルコトヲ得ス

第五節 軌道及橋梁

第十七條 軌道及橋梁ノ各部ハ動荷重ニ耐フル負擔力ヲ有スルコトヲ要ス

併用軌道ニ於ケル軌道及橋梁ノ構造ハ前項ニ規定スルモノヲ除クノ外街路ニ係ルモノハ街路構造令、其ノ他ノ道路ニ係ルモノハ道路構造令ノ規定ニ依ルコトヲ要ス

第十八條 新設軌道ノ橋梁ニシテ交通頻繁ナル道路上又ハ水面上ニ架設スルモノニ在リテハ物件ノ墜落ヲ防ク爲車輛ノ全幅員及其ノ兩側各三百耗以上之ヲ蓋フコトヲ要ス

第六節 踏切道

第十九條 軌道ト道路トノ平面交叉ノ交角ハ特別ノ事由アル場合ヲ除クノ外國道、府縣道及主要ナル市道町村道ニ在リテハ四十五度以上其ノ他ニ在リテハ三十度以上ト爲スヘシ

第二十條 踏切道ハ軌條間ノ全部及其ノ左右各六十耗ニ木石其ノ他適當ナル材料ヲ敷キ軌條面ト道路面ト高低ナカラシムヘシ

新設軌道ノ踏切道ニハ通行人ノ注意ヲ惹クヘキ警標ヲ設ケ交通頻繁ナル箇所ニハ門扉其ノ他相當ノ保安設備ヲ爲スヘシ

第七節 保安裝置

第二十一條 線路カ本線路ヨリ分歧シ又ハ本線路カ鐵道、軌道ト平面交叉ヲ爲ス箇所ニハ相當ノ保安裝置ヲ爲スヘシ新設軌道ノ停留場ニ於テ車輛ノ行違ヲ爲スモノニ付亦同シ

第三章 車輛

第一節 裝置

第二十二條 車輛ニハ適當ナル制動機ヲ裝置スヘシ但シ貨車ニ在リテハ特別ノ事由アル場合ニ限り之ヲ省略スルコトヲ得

動力車ニハ手用制動機ヲ裝置スヘシ但シ特殊ノ軌道ニ使用スルモノニ在リテハ手用制動機及動力制動機ヲ備フヘシ

第二十三條 車輛ニハ救助器、擔彈機、音響器及乘務員間ノ合圖器ヲ裝置スヘシ但シ人力又ハ馬力ヲ動力トスル車輛及新設軌道ノミヲ運轉スル車輛ニ在リテハ救助器ヲ裝置スルコトヲ要セス
客車ニハ前項ニ規定スルモノノ外乗降用把手及車窓保護棒ヲ裝置スヘシ二車以上連結スル車輛ニハ彈性ノ緩衝器及聯結器ヲ裝置スヘシ

第二十四條 客車内ニハ點燈ノ設備ヲ爲スヘシ但シ瓦斯燈又ハ電燈ナルトキハ豫備燈ノ設備ヲ爲スヘシ

第二節 車輪

第二十五條 車輪輪鐵ノ幅ハ左ノ寸法ニ依ルヘシ

- 一 軌間一米〇六七及一米四三五ノモノニ在リテハ百五耗以上百三十耗以下
- 二 軌間七百六十二耗ノモノニ在リテハ八十五耗以上百十五耗以下

三 主トシテ溝軌條ヲ使用スル線路ニ在リテハ七十五耗以上百十五耗以下

第二十六條 車輪輪緣ノ高ハ輪鐵中央ノ踏面ヨリ測リ常ニ左ノ寸法ヲ保タシムヘシ

一 軌間一米〇六七及一米四三五ノモノニ在リテハ二十二耗以上三十六耗以下

二 軌間七百六十二耗ノモノニ在リテハ十九耗以上三十耗以下

三 主トシテ溝軌條ヲ使用スル線路ニ在リテハ十三耗以上二十五耗以下

輪緣ノ厚ハ輪鐵中央ノ踏面ヨリ十耗下位ニ於テ測リ常ニ左ノ寸法ヲ保タシムヘシ

一 軌間一米〇六七及一米四三五ノモノニ在リテハ十六耗以上

二 軌間七百六十二耗ノモノニ在リテハ十三耗以上

三 主トシテ溝軌條ヲ使用スル線路ニ在リテハ十耗以上

第三節 機關車及電車

第二十七條 蒸汽機關車ニハ左ノ裝置ヲ爲スヘシ

一 給水器、驗水器、安全瓣各二箇ヲ備フルコト

二 可鎔栓、實用最高汽壓ヲ特記シタル驗壓器各一箇ヲ備フルコト

三 煙室ニハ火粉止ヲ、灰箱ニハ灰燼止ヲ備フルコト

四 火室側控ニ知ラセ孔ヲ設クルコト

第二十八條 電氣機關車及電車ニハ左ノ裝置ヲ爲スヘシ

一 自動遮斷器ヲ備フルコト

二 特別ノ場合ヲ除クノ外前後ニ制御器ヲ備フルコト

三 架空線式ノ場合ニ在リテハ避雷器ヲ備フルコト

第四節 客車及汽動車

第二十九條 客車内ノ面積ハ乘客定員一人ニ付平均零平方米二八ヨリ小ナルコトヲ得ス但シ起立乘

客ニ對スル相當ノ設備アル場合ニ限り之ヲ零平方米一八迄縮小スルコトヲ得

第三十條 客車ノ乗降踏段ノ蹴上ハ三百八十耗以内、有效蹴込ハ二百十五耗以上タルコトヲ要ス

第三十一條 客車ノ出入口ノ戸ハ有效開キ五百五十耗以上タルコトヲ要ス乗降臺ノ有效長ニ付亦同

シ

第三十二條 汽動車ニハ蒸汽機關車及客車ニ關スル規定ヲ準用ス

第四章 雜則

第三十三條 第五條、第六條、第十條、第二十條第二項、第二十一條、第二十五條、第二十六條及

第二十九條乃至第三十一條ノ規定ハ人力又ハ馬力ヲ動力トスル軌道ニ之ヲ適用セス

第三十四條 地方鐵道建設規程第十七條、第二十八條、第三十三條及第三十五條ノ規定ハ軌道ニ、

第五條、第六條、第十六條、第二十條、第二十九條及第三十條ノ規定ハ新設軌道ニ之ヲ準用ス但

シ人力又ハ馬力ヲ動力トスルモノニ在リテハ此ノ限ニ在ラス

第三十五條 特別ノ事由アル場合ニ於テハ內務大臣鐵道大臣ハ本令ニ依ラサル設計ヲ命スルコトヲ

得

特別ノ事由アル場合ニ於テハ內務大臣鐵道大臣ノ許可ヲ受ケ前各條ニ規定スル設計ニ依ラサルコ

トヲ得

附則

本令ハ大正十三年一月一日ヨリ之ヲ施行ス

從來爲シタル處分、手續其ノ他ノ行爲ハ本令ニ依リテ之ヲ爲シタルモノト看做ス

○軌道運轉信號保安規程

(大正十二年十二月二十九日
鐵道省令第五號)

改正(昭五、六 同九、一二
鐵令 六 同 三)

第一章 總則

第二章 運轉

等一節 線路

第二節 車輛

第三節 車輛運轉

第三章 信號

第一節 通則

第二節 信號機

第一款 常置信號機

第二款 閉塞信號機

第三節 手信號

第四節 發雷信號

第四章 保安

第一節 通則

軌道運轉信號保安規程

第二節 通票式

第三節 票券式

第四節 指導法

第一章 總 則

第一條 軌道ノ運轉、信號及保安ハ本令ノ定ムル所ニ依ルヘシ但シ特別ノ事由アル場合ニ於テハ鐵道大臣ノ許可ヲ受ケ本令ニ依ラサルコトヲ得

鐵道大臣ハ軌道ノ狀況ニ依リ本令ニ依ラサル特別ノ運轉、信號及保安ヲ命スルコトヲ得

第二條 第四條、第五條、第十九條、第二十一條、第三章及第四章ノ規定ハ人力及馬力ヲ動力トスル軌道ニハ之ヲ適用セス

第二章 運 轉

第一節 線 路

第三條 線路ハ車輛ヲ安全且正確ニ運轉スルコトヲ得ヘキ狀態ニ之ヲ保持スルコトヲ要ス

第四條 本線路ニ於ケル轉轍器ノ取柄ハ車輛ノ對向通過ノ際之ヲ支持スヘシ但シ鎖錠其ノ他ノ安全裝置ヲ爲シタルモノハ此ノ限ニ在ラス

第五條 新設軌道ニ於ケル交通頻繁ニシテ遠方ヨリ展望スルコト能ハサル踏切道其ノ他必要ナル踏切道ニハ車輛運轉中番人ヲ置キ之ヲ看守セシムヘシ但シ夜間交通稀ナル際ハ此ノ限ニ在ラス

第二節 車 輛

第六條 車輛ハ安全ニ運轉スルコトヲ得ヘキモノノ外之ヲ使用スルコトヲ得ス

第七條 製作又ハ購入シタル車輛、重要ナル改造又ハ修繕ヲ爲シタル車輛及六月以上使用ヲ停止シタル車輛ハ其ノ各部ノ検査ヲ爲シタル後ニ非サレハ之ヲ使用スルコトヲ得ス

第八條 蒸汽機關車及自動車ニ付テハ左ノ定期検査ヲ行フヘシ

一 使用ノ狀況ニ依リ三年ヲ超エサル期間毎ニ重要ナル部分ヲ取外シテ各部ノ検査及汽罐ノ試験ヲ行ヒ試運轉ヲ爲スコト

二 六月ヲ超エサル期間毎ニ汽笛及汽櫃ノ内部、蒸氣管、放汽管、節汽弁、安全弁及檢壓器ノ検査ヲ爲スコト

三 毎月少クトモ一回火室内部、可銻栓、火粉止器、檢水器、給水器及制動機ノ検査ヲ爲スコト
前項ノ規定ハ瓦斯機關車及瓦斯動車ノ定期検査ニ付之ヲ準用ス

第九條 電氣機關車及電車ニ付テハ左ノ定期検査ヲ行フヘシ

- 一 使用ノ狀況ニ依リ三年ヲ超エサル期間毎ニ重要ナル部分ヲ取外シテ各部ノ検査及電動機ノ絶縁耐力試験ヲ行ヒ試運轉ヲ爲スコト
 - 二 一年ヲ超エサル期間毎ニ電動機、制御裝置、聚電裝置、開閉器、自動遮斷器、避雷器、布設電線、接續電纜及各種計器ノ検査ヲ爲スコト
 - 三 毎月少クトモ一回電路ト大地トノ間ノ絶縁抵抗ノ試験ヲ行ヒ制動機ノ検査ヲ爲スコト
- 第十條** 客車及貨車ニ付テハ使用ノ狀況ニ依リ客車ニ在リテハ一年半、貨車ニ在リテハ三年ヲ超エサル期間毎ニ重要ナル部分ヲ取外シテ定期検査ヲ行ヒ試運轉ヲ爲スヘシ
- 第十一條** 第七條乃至第十條ノ規定ニ依リ施行シタル検査及試験ノ年月日及成績ハ之ヲ帳簿ニ記録スヘシ
- 第十二條** 車輛ハ使用ノ狀況ニ依リ毎日少クトモ一回其ノ要部ヲ點檢スヘシ
- 第十三條** 車輛ニハ左ノ事項ヲ標記スヘシ
- 一 所屬軌道ノ名稱又ハ徽章
 - 二 番號
 - 三 製造ノ年

四 等級、旅客定員、荷重及自重

五 第八條第一項第一號、第九條第一號及第十條ノ規定ニ依リ施行シタル最近検査ノ年月

第三節 車輛運轉

第十四條 併用軌道ニ於テハ車輛ヲ聯結シテ運轉スルコトヲ得ス但シ機關車ニ客車又ハ貨車一輛ヲ聯結スル場合ハ此ノ限ニ在ラス

第十五條 動力車ノ停止中機關手又ハ運轉手其ノ位置ヲ離ルトキハ制動機ヲ緊締シ其ノ他自動防止ノ手段ヲ爲シ置クヘシ

第十六條 客車ニハ外側見易キ場所ニ其ノ行先ヲ明示スヘシ

客車内ニハ夜間點燈スヘシ晝間ニ於テ隧道通過ニ二分時以上ヲ要スルトキ亦同シ

第十七條 車輛ハ停留場内ノ運轉其ノ他特別ノ場合ヲ除クノ外左方ノ線路ヲ進行スヘシ

第十八條 併用軌道ニ於ケル車輛ノ運轉速度ハ動力制動機ヲ裝置セル車輛ニ在リテハ一時間平均二十五糎、最高三十五糎其ノ他ノ車輛ニ在リテハ平均十六糎、最高二十四糎ヲ超ユルコトヲ得ス

第十九條 車輛ヲ聯結シテ運轉スル場合ニ於テハ線路ノ勾配千分ノ十ヨリ急ニシテ其ノ延長四百米以上連續スル區間アルトキハ最後部ニ手用制動機ノ裝置アル車輛ヲ聯結スヘシ但シ最後部ノ車輛

カ貨車ニシテ之ニ隣接スル車輛ニ手用制動機ノ裝置アル場合ハ此ノ限ニ在ラス

第二十條 車輛ニハ夜間左ノ標識ヲ掲クヘシ晝間ニ於テ隧道通過ニ二分時以上ヲ要スルトキ亦同

シ

一 車輛ノ平均運轉速度一時間十六杆ヲ超ユル場合

前部ニ白色燈後部ニ赤色燈

各一箇

二 前號以外ノ場合

前部ニ白色燈

一箇

第二十一條 車輛ノ運轉保安ヲ施行セサル單線ニ於テ同一方向ニ二箇以上ノ車輛ヲ引續キ運轉スル

トキハ必要ニ應シ最後發以外ノ車輛ニハ其ノ前部ニ左ノ標識ヲ掲クヘシ

晝間 赤色圓板

一箇

夜間 赤色燈

一箇

第三章 信號

第一節 通則

第二十二條 天候ノ狀況ニ因リ相當距離ヨリ晝間ノ信號現示ヲ認識シ難キトキハ夜間ノ現示法式ニ

依ルヘシ隧道内ニ於テ現示スル信號亦同シ

第二十三條 信號ヲ現示スヘキ場所ニ所定ノ信號ノ現示ナキトキハ停車信號ト看做スヘシ

第二十四條 信號ハ二箇以上ノ線路又ハ二種以上ノ目的ニ之ヲ兼用スルコトヲ得ス

第二節 信號機

第一款 常置信號機

第二十五條 常置信號機ハ柱上ニ裝置セル腕又ハ燈ヲ以テ車輛ニ對シ運轉ノ條件ヲ指示スルモノニ

シテ其ノ種類左ノ如シ

一 場內信號機 停留場ニ進入セムトスル車輛ニ對シ其ノ進入ノ可否ヲ表示ス

二 出發信號機 停留場ヨリ進行セムトスル車輛ニ對シ其ノ進行ノ可否ヲ表示ス

前項以外ノ常置信號機ヲ設ケムトスルトキハ其ノ信號ノ現示法式ヲ定メ鐵道大臣ノ認可ヲ受クヘ

シ

第二十六條 同一柱上ニ同一種類ノ信號二箇以上ヲ設クルトキハ最上位ニ在ルモノハ最左側ノ線路

ニ屬シ以下順次右方ノ線路ニ屬ス

第二十七條 場內信號機及出發信號機ハ停止信號ヲ現示スルヲ定位トス

第二十八條 場内信號機及出發信號機ハ向テ之ヲ視ルトキ左ノ法式ニ依リ信號ヲ現示ス

停止信號

晝間 左腕ノ位置水平又ハ赤色燈

夜間 赤色燈

進行信號

晝間 左腕ノ位置下向四十五度又ハ綠色燈

夜間 綠色燈

第二十九條 場内信號機及出發信號機ノ腕ハ長方形トシ其ノ表面ヲ赤色、背面ヲ白色トシ腕端ニ近ク之ト竝行シテ表面ニ白色線、背面ニ黑色線ヲ畫ス

第二款 閉塞信號機

第三十條 閉塞信號機ハ複線ニ於ケル閉塞區間ノ始點ニ之ヲ設置シ柱上ニ裝置シタル腕又ハ燈ヲ以テ閉塞區間ニ進入セムトスル車輛ニ對シ運轉ノ條件ヲ指示ス

第三十一條 閉塞信號機ハ車輛カ閉塞區間ニ進入シタルトキハ自働作用ニ依リ停止信號ヲ現示シ車輛カ閉塞區間ヲ通過シタルトキハ閉塞區間ノ終點トノ關聯動作ニ依リ進行信號又ハ注意信號ヲ現示ス

示スル裝置タルヘシ

第三十二條 閉塞信號機ハ進行信號ヲ現示スルヲ定位トシ車輛カ閉塞區間ニ在ル間ハ停止信號ヲ現示ス

第三十三條 閉塞信號機ハ向テ之ヲ視ルトキ左ノ法式ニ依リ信號ヲ現示ス
一 三位式

停止信號

晝間 左腕ノ位置水平又ハ赤色燈

夜間 赤色燈

進行信號

晝間 左腕ノ位置上向九十度又ハ綠色燈

夜間 綠色燈

注意信號

晝間 左腕ノ位置上向四十五度又ハ橙黃色燈

夜間 橙黃色燈

軌道運轉信號保安規程

二二二位式

停止信號

晝間 左腕ノ位置水平又ハ赤色燈

夜間 赤色燈

進行信號

晝間 左腕ノ位置下向四十五度又ハ綠色燈

夜間 綠色燈

第三十四條

閉塞信號機ノ腕端ハ尖形トシ腕ハ表面ヲ赤色、背面ヲ白色トシ腕端ニ近ク之ト竝行シテ表面ニ白色線、背面ニ黑色線ヲ畫ス

第三十五條

車輛カ自動閉塞信號機ノ停止信號ノ現示ニ依リ停止スル場合ニ於テ三分時ヲ經過スルモ進行信號又ハ注意信號ノ現示ナキトキハ一時間十秒ヲ超エサル速度ヲ以テ前途支障ナキ箇所迄進行スルコトヲ得

第三十六條

閉塞信號機不良ノ場合ニ於テ車輛ヲ進行セシメムトスルトキハ其ノ平均運轉速度ヲ一時間十六秒以下ニ制限シ前途支障ナキ箇所迄運轉セシムルコトヲ得

第三節 手信號

第三十七條

手信號ハ信號機ナキ場合又ハ之ヲ用フルコト能ハサル場合ニ於テ使用スルモノニシテ左ノ方式ニ依リ信號ヲ現示ス

停止信號

晝間 赤色旗ヲ提示ス但シ已ムコトヲ得サル場合ニハ兩腕ヲ高ク舉ケ又ハ綠色旗以外ノ任意ノ物體ヲ急激ニ振り廻シテ之ニ代フルコトヲ得

夜間 赤色燈ヲ提示ス但シ已ムコトヲ得サル場合ニハ綠色燈以外ノ任意ノ燈ヲ急激ニ振り廻シテ之ニ代フルコトヲ得

進行信號

晝間 綠色旗ヲ提示ス但シ已ムコトヲ得サル場合ニハ片腕ヲ高ク舉ケテ之ニ代フルコトヲ得
夜間 綠色燈ヲ提示ス

徐行信號

晝間 橙黄色旗ヲ提示ス但シ已ムコトヲ得サル場合ニハ頭上ニ高ク赤色旗及綠色旗ヲ交叉シテ之ニ代フルコトヲ得

夜間 橙黄色燈ヲ提示ス但シ已ムコトヲ得サル場合ニハ綠色燈ヲ明滅シテ之ニ代フルコトヲ得

第四節 發雷信號

第三十八條 發雷信號ハ雷管ノ爆音ニ依リ停止信號ヲ現示ス

第三十九條 雷管ハ相當ノ距離ヲ隔テ二箇以上ヲ軌條ニ裝置スヘシ但シ併用軌道ニ於テハ之カ裝置ヲ爲スヘカラス

第四章 保安

第一節 通則

第四十條 車輛ノ運轉保安ハ閉塞信號機ヲ設置スル區間ヲ除クノ外通票式又ハ票券式ニ依ルヘシ但シ左ノ場合ニ於テハ指導法ニ依ルコトヲ得

- 一 一時線路ヲ中斷シ又ハ複線ニ於テ一線ヲ閉塞シタルトキ
- 二 通票ノ破損又ハ喪失シタルトキ

第四十一條 左ノ場合ニ於テハ車輛ノ運轉保安ヲ施行セサルコトヲ得

- 一 全線ヲ通シ二箇以上ノ車輛ヲ運轉セサルトキ

二 車輛ノ平均運轉速度一時間十六杆ヲ超エサルトキ

第四十二條 軌道經營者ハ車輛ノ運轉保安ノ法式又ハ車輛ノ運轉保安ヲ施行セサル理由ヲ具シ鐵道大臣及地方長官ニ之ヲ届出ツヘシ之ヲ變更シタルトキ亦同シ

第二節 通票式

第四十三條 車輛ハ當該閉塞區間ノ通票ヲ携帯スルニ非サレハ其ノ區間ヲ運轉スルコトヲ得ス

第四十四條 通票式ヲ施行スル區間ニハ通票ヲ備フヘシ

通票ハ一閉塞區間一箇トス

第四十五條 通票ニハ當該閉塞區間ノ兩端ノ停留場名ヲ記スヘシ隣接閉塞區間ノ通票ハ其ノ形狀ヲ異ニスヘシ

第三節 票券式

第四十六條 票券式ハ線路ノ標準勾配千分ノ二十ヨリ緩ナル區間ニ限り之ヲ施行スルコトヲ得地方鐵道運轉信號保安規程第二十一條第二項第一號ノ規定ハ前項ノ標準勾配ニ付之ヲ準用ス

第四十七條 車輛ハ當該保安區間ノ通票又ハ通券ヲ携帯スルニ非サレハ其ノ區間ヲ運轉スルコトヲ得ス

第四十八條 票券式ヲ施行スル區間ニハ通票及通券ヲ備フヘシ

通票ハ一保安區間一箇トス

通券ハ各保安區間ノ兩端ノ停留場ニ之ヲ備フヘシ

第四十九條 通票ニハ當該保安區間ノ兩端ノ停留場名ヲ記スヘシ

隣接保安區間ノ通票ハ其ノ形狀ヲ異ニスヘシ

第五十條 通券ニハ當該保安區間ノ兩端ノ停留場名ヲ記スヘシ

隣接保安區間ノ通券ハ其ノ色ヲ異ニスヘシ

第五十一條 通券ハ當該保安區間ノ通票ヲ以テスルニ非サレハ開クコトヲ得サル通券函ニ之ヲ保管

スヘシ

通券ハ車輛ニ授與スルトキニ非サレハ通券函ヨリ之ヲ取出スコトヲ得ス

第五十二條 通券ハ同一保安區間ニ二箇以上ノ車輛ヲ同一方向ニ運轉スル場合ニ於テ先發車輛ニ限

リ之ヲ使用スヘシ

續行車輛ハ先發車輛ノ出發後五分時ヲ經過スルニ非サレハ之ヲ出發セシムルコトヲ得ス

第五十三條 通券ヲ携帯スル車輛ハ退行スルコトヲ得ス

第五十四條 車輛ノ乗務員ハ當該保安區間ノ通票ヲ確認スルニ非サレハ通券ヲ受領スルコトヲ得
ス

第四節 指導法

第五十五條 車輛ハ指導者乗込ムカ又ハ指導券ヲ携帯スルニ非サレハ指導法ヲ施行スル區間ヲ運轉

スルコトヲ得ス

第五十六條 指導者ハ一區間一人トシ赤色ノ腕章ヲ附スヘシ

第五十七條 指導者ノ氏名及擔當區間ハ指導者ノ乗込前之ヲ關係係員ニ告知スヘシ

第五十八條 指導者ハ指導券ヲ發行スルコトヲ得但シ通票式ヲ施行スル區間ニ在リテハ此ノ限ニ在

ラス

第五十九條 車輛ノ乗務員ハ指導者ヨリ直接指導券ノ交付ヲ受クルニ非サレハ之ヲ受領スルコトヲ

得ス

第六十條 指導法ヲ廢止セムトスル場合ニ於テハ指導法ニ依リ最終ニ運轉スル車輛ニハ指導者ヲ乘

込マシメ且廢止後ニ施行スル保安法式ヲ併用スヘシ

前項ノ場合ヲ除クノ外指導法ト他ノ保安法式トヲ併用スルコトヲ得ス

第六十一條 第五十條、第五十二條及第五十三條ノ規定ハ指導券ニ付之ヲ準用ス

附則

本令ハ大正十三年二月一日ヨリ之ヲ施行ス

從來爲シタル處分又ハ手續其ノ他ノ行爲ハ本令中之ニ相當スル規定アル場合ニ於テハ本令ニ依リテ之ヲ爲シタルモノト看做ス

○軌道係員規程 (大正十二年十二月二十九日 鐵道省令第六號)

第一條 軌道係員ノ職制ニ付テハ本令ニ特別ノ定メアル場合ノ外地方鐵道係員職制ヲ準用ス但シ鐵道大臣トアルハ地方長官トス

第二條 軌道經營者ハ機關手、運轉手及車掌ノ採用ニ關スル規程ヲ定メ鐵道大臣及地方長官ニ之ヲ届出ツヘシ

第三條 旅客及公衆ニ對シ職務ヲ行フ軌道係員ハ一定ノ制服ヲ著クヘシ

第四條 軌道係員ハ職務上ノ義務ニ違背シ若ハ職務ヲ怠リ又ハ失行アリタルトキハ懲戒ヲ受ク

軌道經營者ハ懲戒ニ關スル規程ヲ定メ地方長官ニ之ヲ届出ツヘシ

本條ノ規定ハ公共團體ノ軌道ニハ之ヲ適用セス

第五條 前各條ノ規定ハ人力及馬力ヲ動力トスル軌道ニハ之ヲ適用セス

附則

本令ハ大正十三年二月一日ヨリ之ヲ施行ス

從來爲シタル處分、手續其ノ他ノ行爲ハ本令中之ニ相當スル規定アル場合ニ於テハ本令ニ依リテ之ヲ爲シタルモノト看做ス

○軌道運賃割引規程 (昭和十年五月二十三日 鐵道省令第二號)

軌道運賃割引規程

軌道運賃ノ割引ニ付テハ地方鐵道運賃割引規程ヲ準用ス

附則

軌道係員規程

本令ハ昭和十一年一月一日ヨリ之ヲ施行ス
軌道經營者カ現ニ監督官廳ノ認可ヲ受ケ施行中ノ運賃割引準則ハ本令施行ノ日ヨリ之カ適用ヲ爲ス
コトヲ得ス

○軌道會計規程 (大正十二年十二月二十九日
鐵道省令第七號)

改正 (昭四、一二
鐵令 五)

軌道會計ニ付テハ地方鐵道會計規程ヲ準用ス但シ監督官廳トアルハ鐵道大臣トス

附則

本令ハ大正十三年二月一日ヨリ之ヲ施行ス

○軌道營業報告書様式 (大正十四年六月十三日
鐵道、內務省告示)

改正 (昭五、六
內、鐵告)

軌道營業報告書様式

年 月 日

軌道 代 表 者

鐵道省監督局長宛
內務省土木局長宛

年上(下)期 自 年 月 日 營業報告書
至 年 月 日

一、概況 本項ハ事業ノ概要ヲ示スヲ目的トシ當該期間ニ於テ行政廳ニ申請シタル事項及其ノ指
令ノ要領、商業登記、株主總會、軌道從事員、株主ニ關スル事項、訴訟其ノ他ノ重要ナル庶務
事項ヲ記載スヘシ

二、工事 本項ハ工事ノ狀況ヲ示スヲ目的トシ建設改良及保存工事ニ分チ建設改良工事ニ付テハ
當該期間ニ於ケル工事施行區域、工程及工事ノ現況ヲ記載シ繼續工事ニ係ルモノハ其ノ期間ニ
於ケル竣工歩合及工事ノ現況ヲ記シ保存工事ニ付テハ其ノ重要ナルモノノ工程ヲ記載スヘシ車
輛ノ増減、修繕、用地ノ増減亦同シ

三、運輸 本項ハ運輸ノ狀況ヲ示スヲ目的トシ當該期間ニ於ケル營業日數、旅客及貨物ノ數量、
收入總額一日一軒ノ平均收入、營業費總額、一日一軒ノ平均營業費等ヲ表記シ前期及前々期ニ

軌道營業報告書様式

利益金處分表

自年月日至年月日

軌道

軌道營業報告書様式

收 入		支 出	
科 目	金 額	科 目	金 額
前 期 繰 越 金	圓	法 定 備 金	圓
一 期 純 益		任 意 準 備 金	
		役 員 賞 與 金	
		優 先 株 配 當 金	
		(年何割何分)	
		株 配 當 金	
		(年何割何分)	
		後 期 繰 越 金	
合 計		合 計	

備考 1 優先株又ハ普通株ニ數種アルトキハ各種類毎ニ配當金ヲ記載スヘシ
2 年度ノ中間ニ於テ株金ノ拂込アリタルトキハ其ノ期日及金額ヲ欄外ニ記載スヘシ

建設營業關聯費明細表

自年月日至年月日

軌道

科 目	金 額	摘 要
工 事 監 督 費		
給 旅 一 費		
報 報 一 費		
旅 一 費		
何 一 々		
合 計		

備考 1 建設營業關聯費ヲ建設費、營業費ニ分割スルトキハ其ノ割合ヲ説明スヘシ
2 各事業關聯興業費、各事業興業營業關聯費アルトキハ本表ニ準シ調製添付スヘシ

二四九

損益計算表

自年月日至年月日

軌道

軌道營業報告書様式

收 入		支 出		損 益
科 目	金 額	科 目	金 額	
客 車 收 入	圓	保 電 運 總 諸 建 設 營 業 關 聯 費 分 擔 額	圓	
貨 車 收 雜 入		存 車 輸 係 費 費 費 費 稅 費		
計		對 市 債 金 軌 道 業 負 擔 諸 利 子 社 債 差 損 金 財 產 價 額 消 却 金 雜 損		
合 計		合 計		
地方鐵道業收入		地方鐵道業支出		
電燈電力供給業收入		電燈電力供給業支出		
總 計		總 計		

備考

- 1 財産價額消却金ノ其ノ内容ヲ證明スヘシ
- 2 雜損ハ其ノ主ナル内譯金額ヲ欄外ニ説明スヘシ
- 3 運輸雜收及雜收入ハ其ノ主ナル内譯金額ヲ欄外ニ記載スヘシ
- 4 各事業ニ於テ諸利子ヲ分擔シタルトキハ其ノ金額ヲ欄外ニ記載シ其ノ計算方法ヲ説明スヘシ

二四八

1	建設主任技術者	_____	保線工手	_____
1	主任技師	_____	線路工手	_____
1	技師	_____	保線路切	_____
1	技師	_____	保線路	_____
1	技師	_____	計	_____

備考

- 1 給料月額欄ニハ年修額ハ其ノ十二分ノ一、日給額ハ其ノ三十倍ヲ記載スヘシ
- 2 諸給與月額欄ニハ臨時手當、賞與金、住宅料、被服代其ノ他時間増手當等ノ諸給與金ヲ一月分ニ平均シタルモノヲ記載スヘシ
- 3 同一人ニテ他ノ業務ヲ兼ムルトキハ之ヲ明ニスヘシ

○軌道統計報告書様式

(大正十四年六月十三日)改正 (昭五、六
鐵道、内務省告示)

軌道統計報告書様式

年 月 日

軌道代表者

内務省土木監督局長宛
鐵道省土木監督局長宛
年(上)(下)期自 年 月 日 統計報告書

第一表

線 路 表

年 月 日 現在

軌道

種 別	區 間	新 程				計	側線延長	停留場數	摘 要
		單 用軌道	線 新設軌道	複 用軌道	線 新設軌道				
旅客、用貨物	〃								
客線									
貨物線									

軌道統計報告書様式

未開業線	工事施行線	〃	〃															
	特許線	〃	〃	間														
合 計		計																

備考

- 1 料程ハ小數點以下第一位ニ止メ第二位以下ハ四捨五入ヲナシ計上スヘシ
- 2 停留場數ハ開業線ニ係ルモノノミヲ記載スヘシ
- 3 他ノ鐵道、軌道所屬ノ停車場又ハ停留場ヲ共用スルモノハ之ヲ朱書別記スヘシ
- 4 他ノ鐵道又ハ軌道線路ヲ共用シ又ハ借受使用スルモノアルトキハ之ヲ朱書別記スヘシ
- 5 接続セサル營業線路ヲ有スルモノハ其ノ營業線路別ニ本表以下各表ヲ區分記載スヘシ

第二表

機關車及動力表

年 月 日 現在

軌道

種 別	摘 要	
	數 量	所 在 地
電 氣	輛 總 重	所 在 地
	輛 數	
	輛 總 重	
	輛 數	
機 關 車	輛 總 重	所 在 地
	輛 數	
	輛 總 重	
	輛 數	

動力	電	氣	發電所		最大出力	出力別	キロワット	一日總發電量	供給者	電力別	一日電力量	受給契約一キロワット時代價	實際支拂一キロワット時代價	受給契約期間	年	月	日
			馬力	馬力													
馬力	馬力	馬力	馬力	馬力			キロワット	キロワット	キロワット								
馬力	馬力	馬力	馬力	馬力			キロワット	キロワット	キロワット								

備考 1 吨數ハハカ數點以下第二位ニ止メ第三位以下ハ四捨五入ヲナシ計上スヘシ
 2 馬力及人力ニ在リテハ當該期間ニ於ケル使用延日頭數、使用延日員數ヲ摘要欄ニ記載スヘシ

第三表

客貨車表

年月日現在

軌道

種別	輛數	定員	總數	摘要	
					噸積
客車	ボギー車	客車	人	輛	
		電動車	人	輛	
		汽動車	人	輛	
		瓦斯動車	人	輛	
		計	人	輛	
	四輪車	客車	人	輛	
		電動車	人	輛	
		汽動車	人	輛	
		瓦斯動車	人	輛	
		計	人	輛	
合計					
貨車	有蓋	貨物車	噸積	噸	
		計	噸積	噸	
		四輪車	噸積	噸	
	無蓋	貨物車	噸積	噸	
		計	噸積	噸	
		四輪車	噸積	噸	
	合計				

軌道統計報告書様式

二五七

備考

- 1 定員總數ハ各車定員ノ合計ヲ又荷重總計ハ各車標記ノ荷重噸數ノ合計ヲ記載スヘシ
- 2 手小荷物室、郵便物室容積ハ立方米ヲ摘要欄ニ記載スヘシ
- 3 貨車ノ噸積ハ標記荷重噸數ヲ記載スヘシ

第四表 線路異動表

自 年 月 日 至 年 月 日 軌道

未開業	開業			線路特許認可年月日	種別	開業			異動年月日
	種別	區間	程計			種別	區間	程計	
工事認可	種別	區間	新設	程計	種別	區間	新設	程計	異動年月日
			併用軌道				併用軌道		
特許	種別	區間	新設	程計	種別	區間	新設	程計	異動年月日
			併用軌道				併用軌道		
廢止	種別	區間	新設	程計	種別	區間	新設	程計	異動年月日
			併用軌道				併用軌道		
修正	種別	區間	新設	程計	種別	區間	新設	程計	異動年月日
			併用軌道				併用軌道		

- 備考
- 一 程程ハ小數點以下第一位ニ止メ第二位以下ハ四捨五入ラナシ計上スヘシ
 - 二 併用軌道ノ欄ハ國道、府縣道又ハ地方費道、準地方費道、市道、町村道等道路法ノ區分ヨリ別記スヘシ
 - 三 開業線中開業及修正ノ異動年月日ハ運輸開始ノ年月日、廢止ハ許可ノ年月日並實施年月日ヲ括弧ヲ附シ記載スヘシ

第五表

營業日數及使用延日車數表

自 年 月 日 至 年 月 日

軌道

種別	客車運輸		貨車運輸		摘要
	自 年 月 日	至 年 月 日	自 年 月 日	至 年 月 日	
營業日數	何 日 間		何 日 間		
	ボギ一車		ボギ一車		
使用延日車數	四 輪 車		四 輪 車		
	計		計		

備考

- 1 營業日數ノ何日間ニハ營業休止ノ日數(營業休止ノトキハ其ノ理由ヲ摘要欄ニ記載スルコト)ヲ除キタルモノヲ記載スヘシ
- 2 使用延日車數ハ自己線路上ヲ營業上使用シタル車輛ニ付調査記載スヘシ

第七表 運轉用電力、燃料及油脂消費額表

自 年 月 日 至 年 月 日 軌道

軌道統計報告書様式

種	別	數量	代 價	摘 要	
電力	電 氣 機 關 車	キロワット時	圓		
	電 動 車	〃			
燃料	蒸氣機 關車	運轉用 石 炭	噸		
		點火用 〃 〃			
		計			
	汽動車	運轉用 石 炭			
		點火用 〃 〃			
		計			
瓦斯動車	運轉用 揮發油	立			
油脂	電 氣 機 關 車	礦 油			
		〃 〃			
		計			
	蒸 汽 機 關 車	〃 〃			
		〃 〃			
		〃 〃			
	汽 動 車	〃 〃			
		〃 〃			
		〃 〃			
	瓦 斯 動 車	〃 〃			
		〃 〃			
		〃 〃			
電 動 車	〃 〃				
	〃 〃				
	〃 〃				
客 貨 車	〃 〃				
	〃 〃				
	〃 〃				

- 備考 1 數量及代價ハ營業上使用シタルモノ(點燈用油脂ヲ除ク)ノミヲ記載スヘシ
- 2 電氣機關車、電動車、蒸氣機關車、汽動車及瓦斯動車ニ在リテハ自己所屬ノ車輛(借入車ヲ含ム)カ自己線路ヲ走行シタル場合ニ於テ消費シタルモノ、ミヲ記載シ他ノ鐵道又ハ軌道所屬線路ヲ走行シタル場合ニ於ケルモノハ本表ニ準シ區別記載スヘシ
- 3 客貨車ニ在リテハ車輛所屬ヲ問ハス自己線路ヲ走行シタル場合ニ於ケルモノ、ミヲ記載スヘシ
- 4 電氣機關車ノ外消費電力及蒸氣機關車、汽動車、瓦斯動車ノ燃料ハ總數量ノ外各形式別(同一設計ノ構造ノモノヲ一形式トシ)ノモノヲ摘要欄ニ記載スヘシ
- 5 種別欄ノ品名ハ例示ナリ
- 6 自家發電ノ場合ニ於ケル電力代價ハ(イ)他ニ賣却スルモノアルトキハ其ノ單價ニヨリ算出シ(ロ)然ラサルトキハ發電所經費ヲ記載シ其旨摘要欄ニ記載スヘシ

第六表 機關車、客車及貨車走行料表

自 年 月 日 至 年 月 日 軌道

軌道統計報告書様式

種	別	料 數	摘 要		
機關車 走行料	電 氣 機 關 車	料			
	蒸 氣 機 關 車				
	瓦 斯 機 關 車				
客 車 走行料	ボギー車	電 動 車			
		客 車			
		汽 動 車			
		瓦斯動車			
		計			
	四輪車	電 動 車			
		客 車			
		汽 動 車			
		瓦斯動車			
		計			
合 計					
貨 車 走行料	ボギー車	電 動 車			
		貨 車			
		〃 〃			
		計			
		電 動 車			
	四輪車	貨 車			
		〃 〃			
		計			
		合 計			

備考

- 1 料數ハ營業上運轉シタルモノヲ記載シ建築及保線用ニ係ルモノヲ算入スヘカラス
- 2 電氣ヲ動力トスルモノニ在リテハ運轉回數(ボギー車四輪車ヲ共用スルモノハ其ノ種別ニ尙區間ニヨリ運轉回數ヲ異ニスル場合ハ區間別ニ)ヲ摘要欄ニ記載スヘシ
- 3 運轉系統ニ依リ運轉スルモノニ在リテハ運轉系統別ニ其ノ區間、運轉回數及本表ニ準シ走行料ヲ記載スヘシ
- 4 ボギー車ノ走行料ハ換算セサルモノヲ記載スヘシ
- 5 電氣、蒸氣、瓦斯機關車及汽動車並瓦斯動車ノ場合ニハ總走行料ノ外各形式別(同一設計ノ構造ノモノヲ一形式トシ)ニ走行料ヲ摘要欄ニ記載スヘシ

第八表

旅客貨物數量及運輸收入月別表

自 年 月 日至 年 月 日

軌道

月別	數			量			運			輸			收		入						
	旅客	手荷物 (有貨)	小荷物	計	貨	小口	貨切	計	旅客	手荷物	小荷物	計	郵便物	貨		小口	貨切	計	運輸雜收	合計	摘要
月																					

備考

1 貨物延數ハ小數點以下第一位ニ止メ第二位以下ハ四捨五入ヲナシ計上スヘシ

2 定期乗車ハ一日一往復トシ、回数乗車ハ其ノ回数(區間制ヲ除ク)團體、貨切乗車ハ運賃計算人員ニ依リ往復乗車及回遊乗車ハ二人トシ延人員ヲ乗車券發賣當月分ニ算入シ該乗車券ノ券數、延人員及運賃ヲ摘要欄ニ記載スヘシ

3 區間制(發著不明ノモノ)ニ依ル乗車人員計算方ハ次ノ方法ニ依ル

イ 普通乗車ノ各區券ハ一券ヲ以テ一人トナス

ロ 回数乗車ノ各區券ニ依ルモノハ普通乗車ト同様ニ取扱フモノトス
但シ五十區券、百區券等ヲ以テ乘車區數ニ應シ乘車券ヲ使用シ得ルモノニ在リテハ次ノ算式ニ依ル

$$\frac{\text{普通乘車總延區數}}{\text{普通乘車人員}} = \text{一人平均乘車區數}$$

$$\frac{\text{回数乘車總延區數}}{\text{一人平均乘車區數}} = \text{乘車人員(推定)}$$

以上ノ推定乘車人員ヨリモ實際乘車人員ノ近似數ヲ算出スル方法アルモノハ本算式ニ依ラサルコトヲ得但シ此ノ場合ニ在リテハ其ノ算出方ヲ説明スヘシ

ハ 數區間ヲ有シ一區乘車券ノミヲ發賣スルモノニ在リテハ其ノ推定乘車人員ハ適當ナル方法ニ依リ之ヲ算出シ其ノ方法ヲ附記スヘシ

4 貨物ニテ延ヲ以テ取扱ヒタルモノハ運賃計算延數ニ依リ之ヲ計上スヘシ

5 貨切扱又ハ延ヲ以テ取扱ヒタルモノハ運賃計算延數ニ依リ之ヲ計上スヘシ

6 延扱アル場合ハ小口扱ト貨切扱トノ間ニ其ノ欄ヲ設ケ記載スヘシ

7 箇數扱ノ手小荷物ハ之ヲ一延(一個平均延量ハ隨時調査シタル實績ニ依ル)ニ換算シ且ツ該欄ニ其ノ箇數ヲ朱書スヘシ

第九表 旅客運賃率及發賣乘車券明細表

自年月日至年月日 軌道

種別	概要		
	種別	概要	
旅客運賃率	平均	(一) 平均	
	區間制	一區運賃 平均一區當運賃	
均一制	普通乘車券	片道復 往復	
	割引乘車券	學生勞働者	片道復 往復
		軍人	片道復 往復
	回数乘車券	普通	二十五回 " " "
學生		二十五回 " " "	
區間制	總區間數		
	普通乘車券	一區券	片道復 枚 延區數
		二區券	" " "
		— — —	" " "
	計		
	回数乘車券	一區券	二十五回 冊
		二區券	" " "
		二十五回	" " "
	計		
	定期乘車券	一區券	一ヶ月 三ヶ月
		二區券	" " "
		— — —	" " "
計			
割引乘車券	一區券	片道復 枚	
	— — —	" " "	
	計		
回遊乘車券		何々間 枚	
延區數合計			

備考

- 一 運賃率ハ年度末現在ヲ記載スヘシ
- 二 年度中運賃率ノ變更アリタルトキハ摘要欄ニ舊運賃率及新運賃率ノ實施年月日ヲ記載スヘシ
- 三 區間制ニ於テ異ナリタル運賃率ヲ設ケアルモノハ區分記載スヘシ
- 四 區間制延區數算出ハ普通乘車ノ往復ハ片道ノ二倍、回数乘車ハ其ノ回数、定期乘車ハ一日一往復トシ其ノ區數ヲ乘シタルモノヲ計上スヘシ
- 五 連帶扱ニ係ル乘車券ハ同乘車券ニ相當スル欄ニ合算計上スヘシ
- 六 本表例示ノモノ以外ノ乘車券發賣ハ夫々様式ニ準シ記載スヘシ
- 七 本表所載ノ乘車券ヨリ算出シタル人員ハ第八表ノ旅客人員ト符合スヘキモノトス
但シ區間制ニシテ第八表備考第二項ロノ但書算式ニ依リ前期又ハ前年同期ノ一人平均乘車區數ニ基キ月別ニ乘車人員ヲ推算スルモノニアリテハ本表ノ營業年度ヲ通シ計算シタルモノト上記算出方法ニヨルモノト誤差人員ハ第八表ノ旅客人員ト符合セサル人員タルヘシ

鐵道省 監督局長
内務省 土木局長

地方局長官殿 (連名各通)

依命通牒

軌道法施行規則及同法第二十五條ニ依ル職權委任ニ關スル省令改正ニ伴フ事務

取扱ニ關スル件

昭和十五年四月一日軌道法施行規則及同法第二十五條ニ依ル職權委任ニ關スル省令ノ改正ニ依リ鐵道局長ハ軌道監督行政事務ノ一部ヲ分掌スルコトト相成候條今後地方長官及鐵道局長ニ於テ關係事項ノ處理ニ當リテハ左記事項諒承ノ上軌道監督行政上效果アル實績ヲ擧ケラルル様相互ニ協力相成度

尙本件ニ關シテハ軌道事業者ニ對シテモ必要事項ニ付別紙ノ通依命通牒致置候條了知有之度

記

地方長官ニ於テ履行スヘキ事項

一、軌道法施行規則第十七條第一項ノ處分ニ付テハ鐵道局長ニ通知スルコト

二、同第十九條乃至第二十二條第一項ノ中大正十二年十二月二十日發甲第一一號土木局長通牒ニ

依ル指定都市ニ於ケルモノニ付テハ意見ヲ附シ副本ヲ内務大臣ニ進達スルコト(從來通)

右ノ中指定都市以外ノモノニ付テハ意見ヲ鐵道大臣ニ申出ツルコト

三、同第二十三條及第二十四條第三項ノ届出中指定都市ニ於ケルモノニ付テハ内務大臣ニ報告スルコト(從來通)

四、同第二十七條ニ依ル準用規定中地方鐵道法施行規則第二十一條第一項但書及第二十五條第二項但書ノ届出ニ付テハ各其ノ副本ヲ添附シ内務、鐵道兩大臣ニ報告スルコト

五、職權委任ニ關スル省令第一條中運輸開始及其ノ後ニ關スル事項、第二條第一項第一號中運輸開始後ニ關スル事項及第二號ノ處分ニ付テハ所管鐵道局長ニ通知スルコト

鐵道局長ニ於テ履行スヘキ事項

一、軌道法施行規則第二十六條第二項ノ届出ニ付テハ地方鐵道ニ於ケル場合ト同様鐵道大臣ニ報告スルコト

二、同第二十七條ニ依ル準用規定中地方鐵道法施行規則第四十八條及第四十八條ノ二ノ届出ニ付

テハ各其ノ副本ヲ添附シ内務、鐵道兩大臣ニ報告スルコト

三、職權委任ニ關スル省令第三條第一項第一號及第二號ノ處分ニ付テハ各地方長官ニ通知スルコト

鐵道省 監督局長
内務省 土木局長

軌道事業代表者殿

依 命 通 牒

軌道法施行規則及職權委任ニ關スル省令改正ニ伴フ書類提出方ニ關スル件

昭和十五年四月一日軌道法施行規則及同法第二十五條ニ依ル職權委任ニ關スル省令改正ニ依リ鐵道局長ニ於テモ軌道ニ關スル監督行政事務ノ一部ヲ分掌スルコトト相成候處右ニ付テハ關係官廳間ニ於テ事務處理ノ上緊密ナル連絡ヲ計ル必要有之候爲今般書類ノ提出方ニ關シ左記事項ヲ補足致候條諒承ノ上今後ノ手續ニ際シ書類ノ作製竝ニ提出ニ當リテハ法規ト共ニ該補足事項ヲモ照合セラレ萬遺漏ナキヲ期セラレ度

記

一、軌道法施行規則第十七條第一項ノ申請ニ付テハ其ノ副本ヲ鐵道局長ニ提出スルコト

二、同第二十八條ノ申請中内務大臣ニ提出ノ分ニハ政府所屬ノ車輛ニ付テモ車種、輛數、自重、定員、積載容積及荷重、最大寸法、固定輪軸距及ボギー中心間距離ヲ記載スルコト

地方鐵道法施行規則第二十條ノ申請ニシテ運輸開始後ニ於ケルモノニ付テハ其ノ副本ヲ鐵道局長ニ提出スルコト但シ此ノ場合ニ限り副本ニハ圖面添附ヲ要セス

三、同第二十七條ニ依ル準用規定中地方鐵道法施行規則第二十二條ノ届出ニ付テハ副本ヲ鐵道局長ニ提出スルコト

四、同準用規定中地方鐵道法施行規則第三十條及第三十二條ノ申請ニ付テハ各其ノ副本ヲ鐵道局長ニ提出スルコト

五、職權委任ニ關スル省令第一條中運輸開始及其ノ後ニ關スル事項及第二條第一項第一號中運輸開始後ニ關スル事項ノ申請ニ付テハ各其ノ副本ヲ鐵道局長ニ提出スルコト

六、同第三條第一項第一號ノ申請及届出、第二號ノ申請ニ付テハ其ノ副本ヲ地方長官ニ提出スルコト

(參考) 軌道法施行ニ關スル件覺書

軌道統計報告書様式

左ニ掲グル市内ニ敷設スル軌道及其ノ市ニ起點又ハ終點ヲ有スル軌道ニ關シ軌道法施行規則第十
九條乃至第二十二條ノ規定ニ依ル處分並ニ第十七條第二項、第二十三條及第二十四條第三項ノ規
定ニ依ル届出ノ處理ニ付テハ鐵道大臣ハ内務大臣ニ合議ノ上處分スルモノトシテ軌道法ヲ施行ス
ルモノトス

大正十二年十一月二十九日

内務次官 塚本清治
鐵道次官 中川正左

記

東京市、京都市、大阪市、横濱市、神戸市、長崎市、名古屋市、仙臺市、金澤市、廣島市、吳市、
八幡市、鹿兒島市、札幌市、函館市、小樽市、堺市、尼ヶ崎市、新潟市、岡山市、下關市、福岡
市、門司市、小倉市、若松市、熊本市、濱松市、豊橋市、岐阜市、静岡市、大牟田市
(参考) 軌道法施行ニ關スル件

(大正十二年十二月二十日)
(發甲第一二號内務省土木局長通牒)

今般軌道法施行規則公布相成同規則第十七條第二項、第二十三條及第二十四條第三項ノ規定ニ依
ル届出ノ處理並同規則第十九條乃至第二十二條ノ規定ニ依ル認可ハ鐵道大臣ノ權限ニ屬セシメラ
レ候處左記市内ニ敷設スル軌道及其ノ市ニ起點又ハ終點ヲ有スル軌道ニ關シ鐵道大臣ガ右處分ヲ
爲スニ方リテハ鐵道大臣ニ合議ノ上決定スルコトニ同省ト協議相整居候條右書類ヲ進達セララル
トキハ同時ニ貴官ノ意見ヲ附シ其ノ副本ヲ當省大臣ニ進達候様御取扱相成度

記

別紙覺書記載ノ通

監軌第五五六號

昭和十五年四月一日

監督局長

鐵道局長宛(各通)

依命通牒

軌道運賃臨時割引ノ處分ニ關スル件

軌道法第二十五條ニ依ル職權委任ニ關スル省令第三條第一項第一號ノ規定ニ依ル事項中其ノ期間

軌道統計報告書様式

ガ繼續シテ一ケ年ヲ超ユルモノニ付テハ處分前鐵道大臣ニ稟伺有之度

追而運賃割引ニ關シテハ昭和十四年十一月十四日監雜第一四一七號依命通牒ニ添付シタル説明書ニ依リ處理相成度

道
路
法

○道路法

(大正八年四月十一日
法律第五八號)

改正 (大正一一、三
法)

第一章 總則

第一條 本法ニ於テ道路ト稱スルハ一般交通ノ用ニ供スル道路ニシテ行政廳ニ於テ第二章ニ依ル認定ヲ爲シタルモノヲ謂フ

第二條 左ニ掲クルモノハ道路ノ附屬物トシ道路ニ關スル本法ノ規定ニ從フ但シ命令ヲ以テ特別ノ定ヲ爲スコトヲ得

- 一 道路ヲ接續スル橋梁及渡船場
- 二 道路ニ附屬スル溝、並木、支壁、柵、道路元標、里程標及道路標識
- 三 道路ニ接スル道路修理用材料ノ常置場
- 四 前各號ノ外命令ヲ以テ道路ノ附屬物ト定メタルモノ

第三條 本法ニ於テ橋梁又ハ渡船場ト稱スルハ前條第一號ノ橋梁又ハ渡船場ヲ謂フ
本法ニ於テ渡船場ト稱スルハ渡船ヲ包含ス

第四條 本法ニ於テ他ノ工作物ト稱スルハ堤防、堰堤、護岸、鐵道用橋梁其ノ他命令ヲ以テ定ムル工作物ヲ謂フ

第五條 本法ニ於テ道路ニ關スル工事ト稱スルハ道路ノ新設、改築及修繕ニ關スル工事ヲ謂フ

第六條 道路ヲ構成スル敷地其ノ他ノ物件ニ付テハ私權ヲ行使スルコトヲ得ス但シ所有權ノ移轉又ハ抵當權ノ設定若ハ移轉ヲ爲スハ此ノ限ニ在ラス

第七條 道路、沿道又ハ道路ノ附屬物ニ關スル本法ノ規定ハ命令ノ定ムル所ニ依リ新ニ道路、沿道又ハ道路ノ附屬物ト爲ルヘキモノニ關シ之ヲ準用スルコトヲ得

第二章 道路ノ種類、等級及路線ノ認定

第八條 道路ヲ分チテ左ノ四種トス

- 一 國道
- 二 府縣道
- 三 市道
- 四 町村道

第九條 道路ノ等級ハ前條記載ノ順序ニ依ル

第十條 國道ノ路線ハ左ノ路線ニ就キ主務大臣之ヲ認定ス

- 一 東京市ヨリ神宮、府縣廳所在地、師團司令部所在地、鎮守府所在地又ハ樞要ノ開港ニ達スル路線
- 二 主トシテ軍事ノ目的ヲ有スル路線

第十一條 府縣道ノ路線ハ左ノ路線ニシテ府縣内ノモノニ就キ府縣知事之ヲ認定ス

- 一 府縣廳所在地ヨリ隣接府縣所在地ニ達スル路線
- 二 府縣廳所在地ヨリ府縣内郡市役所所在地ニ達スル路線
- 三 府縣廳所在地ヨリ府縣内樞要ノ地、港津又ハ鐵道停車場ニ達スル路線
- 四 府縣内樞要ノ地ヨリ之ト密接ノ關係ヲ有スル樞要ノ地、港津又ハ鐵道停車場ニ達スル路線
- 五 府縣内樞要ノ港津ヨリ之ト密接ノ關係ヲ有スル樞要ノ地又ハ鐵道停車場ニ達スル路線
- 六 府縣内樞要ノ鐵道停車場ヨリ之ト密接ノ關係ヲ有スル樞要ノ地又ハ港津ニ達スル路線
- 七 數市町村ヲ連結スル重要ナル幹線ニシテ其ノ沿線地方ト密接ノ關係ヲ有スル樞要ノ地、港津又ハ鐵道停車場ニ達スル路線
- 八 樞要ノ港津又ハ鐵道停車場ヨリ之ト密接ノ關係ヲ有スル國道又ハ府縣道ニ連路スル路線

九 地方開發ノ爲必要ニシテ將來前各號ノ一ニ該當スヘキ路線

第十二條 (削除)

第十三條 市道ノ路線ハ市内ノ路線ニ就キ市長之ヲ認定ス

第十四條 町村道ノ路線ハ町村内ノ路線ニ就キ町村長之ヲ認定ス

第十五條 市町村長ハ市町村ノ爲特ニ必要アル場合ニ限り市町村外ノ路線ニ就キ地元市町村長ノ意見ヲ聞キ路線ノ認定ヲ爲スコトヲ得

前項ノ路線ニシテ市長ノ認定シタルモノハ市道ノ路線、町村長ノ認定シタルモノハ町村道ノ路線トス

第十六條 上級ノ道路ト下級ノ道路ト路線カ重複スル場合ニ於テハ其ノ重複スル部分ハ上級ノ道路トス

第三章 道路ノ管理

第十七條 國道ハ府縣知事、其ノ他ノ道路ハ其ノ路線ノ認定者ヲ以テ管理者トス但シ勅令ヲ以テ指定スル市ニ於テハ其ノ市内ノ國道及府縣道ハ市長ヲ以テ管理者トス

第十八條 道路ニシテ行政區劃ノ境界ニ係ルモノハ命令ノ定ムル所ニ依リ前條ノ規定ニ依ル管理者

タル關係行政廳ノ一ヲ以テ管理者ト爲スコトヲ得

道路ト他ノ工作物ト效用ヲ兼ヌル場合ニ於テハ其ノ道路及工作物ノ管理ニ付前項ノ規定ヲ準用ス但シ私人ヲ管理者ト爲スコトヲ得ス

第十九條 道路ノ區域ハ管理者之ヲ定ム

第二十條 道路ノ新設、改築、修繕及維持ハ管理者之ヲ爲スヘシ
主務大臣必要アリト認ムルトキハ國道ノ新設又ハ改築ヲ爲スコトヲ得此ノ場合ニ於テ道路管理者ノ權限ハ命令ノ定ムル所ニ依リ主務大臣之ヲ行フ

第二十一條 道路ト他ノ工作物ト效用ヲ兼ヌル場合ニ於テハ管理者ハ其ノ工作物ノ管理者ヲシテ道路ニ關スル工事ヲ執行セシメ又ハ道路ノ維持ヲ爲セシムルコトヲ得但シ河川法第十條第一項ノ規定ニ該當スル場合ニ於テハ其ノ規定ニ依ル

第二十二條 他ノ工事又ハ行爲ノ爲必要ヲ生シタル道路ニ關スル工事ハ管理者其ノ工事執行者又ハ行爲者ヲシテ之ヲ執行セシムルコトヲ得

第二十三條 前二條ノ規定ニ依ル場合ノ外特別ノ事由アル場合ニ於テハ管理者タル行政廳ハ下級行政廳又ハ私人ヲシテ道路ノ修繕ニ關スル工事ヲ執行セシメ又ハ道路ノ維持ヲ爲サシムルコトヲ得

第二十四條 管理者ニ非サル者ハ管理者ノ許可又ハ承認ヲ得テ道路ニ關スル工事ヲ執行シ又ハ道路ノ維持ヲ爲スコトヲ得

第二十五條 道路ニ關スル工事ノ爲必要ヲ生シタル他ノ工事ハ管理者道路ニ關スル工事ト共ニ之ヲ執行スルコトヲ得

第二十六條 管理者ニ非サル者ハ管理者ノ許可又ハ承認ヲ得テ一定ノ期間橋錢又ハ渡錢ヲ徵收スルコトヲ得ル橋梁又ハ渡船場ヲ設クルコトヲ得
前項ノ許可又ハ承認ヲ得タル者ハ徵收期間内橋梁又ハ渡船場ノ維持及修繕ヲ爲スヘシ

第二十七條 管理者ハ特別ノ事由アル場合ニ限り橋錢又ハ渡錢ヲ徵收スル橋梁又ハ渡船場ヲ設クルコトヲ得

第二十八條 管理者ハ交通ヲ妨ケサル限度ニ於テ道路ノ占用ヲ許可又ハ承認スルコトヲ得
國ノ事業ニ付テハ當該官廳ハ主務大臣ト協議シテ前項道路ノ占用ヲ爲スコトヲ得
前項ノ規定ニ依ル主務大臣ノ職權ノ一部ハ之ヲ地方長官ニ委任スルコトヲ得
管理者ハ道路ノ占用ニ付占用料ヲ徵收スルコトヲ得但シ前二項ノ規定ニ依ル占用ニ付テハ此ノ限ニ在ラス

第二十九條 前條第一項ノ規定ニ依ル占用カ法令ニ依リ土地ヲ收用又ハ使用スルコトヲ得ル公共ノ利益トナルヘキ事業ニ係ルモノナル場合ニ於テ管理者正當ノ事由ナクシテ其ノ許可若ハ承認ヲ拒ミ又ハ不相當ナル占用料ヲ定メタルトキハ主務大臣ハ事業者ノ申請ニ依リ占用ヲ許可若ハ承認シ又ハ占用料ヲ定ムルコトヲ得

第三十條 管理者ハ其ノ管理ニ屬スル道路ノ臺帳ヲ調製スヘシ
臺帳ニ記載スヘキ事項ハ命令ヲ以テ之ヲ定ム

第三十一條 道路ノ構造、維持、修繕及工事執行方法ニ關シテハ命令ヲ以テ之ヲ定ム

第三十二條 道路ノ管理ノ爲必要ナル吏員ノ設置及其ノ職務權限ニ關シテハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

第四章 道路ニ關スル費用及義務

第三十三條 主トシテ軍事ノ目的ヲ有スル國道其ノ他主務大臣ノ指定スル國道ノ新設又ハ改築ト要スル費用ハ國庫ノ負擔トス第二十條第二項ノ規定ニ依ル國道ノ新設又ハ改築ニ要スル費用ニ付亦同シ

前項ニ規定スルモノヲ除クノ外道路ニ關スル費用ハ管理者タル行政廳ノ統轄スル公共團體ノ負擔トス但シ行政區劃ノ境界ニ係ル道路ニ關スル費用ノ負擔ニ付テハ關係行政廳ノ協議ニ依ル協議調

ハサルトキハ主務大臣之ヲ決定ス

第二十條第二項ノ規定ニ依ル國道ノ新設又ハ改築ニ要スル費用ハ命令ノ定ムル所ニ依リ管理者タル行政廳ノ統轄スル公共團體ヲシテ其ノ一部ヲ負擔セシムルコトヲ得

第三十四條 前條ノ場合ニ於テ道路ト他ノ工作物ト效用ヲ兼ヌルモノナルトキハ其ノ費用ノ負擔ニ付テハ前條第二項但書ノ規定ヲ準用ス但シ河川法第三十條ノ規定ニ該當スル場合ニ於テハ其ノ規定ニ依ル

第三十五條 第三十三條第二項ニ規定スル費用ニシテ國道ノ新設又ハ改築ニ要スルモノハ其ノ一部ヲ國庫ヨリ補助スルコトヲ得特別ノ事由アル場合ニ於テ府縣道以下ノ道路ノ新設又ハ改築ニ要スル費用ニ付亦同シ

第三十六條 第二十四條ノ規定ニ依ル道路ニ關スル工事若ハ道路ノ維持ニ要スル費用又ハ第二十六條ノ規定ニ依リ設クル橋梁若ハ渡船場ニ關スル費用ハ許可又ハ承認ヲ得タル者ノ負擔トス

第三十七條 他ノ工事又ハ行爲ノ爲ニ必要ヲ生シタル道路ニ關スル工事ノ費用ハ管理者他ノ工事又ハ行爲ニ付費用ヲ負擔スル者ヲシテ其ノ全部又ハ一部ヲ負擔セシム

第三十八條 特別ノ事由アル場合ニ於テハ第二十三條ノ規定ニ依ル道路ノ修繕ニ關スル工事又ハ道

路ノ維持ニ要スル費用ハ管理者同條ノ下級行政廳ノ統轄スル公共團體又ハ同條ノ私人ヲシテ其ノ全部又ハ一部ヲ負擔セシムルコトヲ得

第三十九條 道路ニ關スル工事ニ因リ著シク利益ヲ受クル者アルトキハ管理者ハ其ノ者ヲシテ利益ヲ受クル限度ニ於テ道路ニ關スル工事ノ費用ノ一部ヲ負擔セシムルコトヲ得

第四十條 特ニ道路ヲ損傷スル原因ト爲ルヘキ事業ヲ爲ス者アル場合ニ於テ管理者ハ之カ爲ニ要スル道路ノ維持又ハ修繕ノ費用ノ一部ヲ其ノ事業者ニ負擔セシムルコトヲ得

第四十一條 道路ニ關スル工事ノ爲ニ必要ヲ生シタル他ノ工事ノ費用ハ管理者特別ノ事由アル場合ニ於テ他ノ工事ニ付費用ヲ負擔スル者ヲシテ其ノ全部又ハ一部ヲ負擔セシムル場合ヲ除クノ外道路ニ關スル工事ノ費用ヲ負擔スル者ヲシテ之ヲ負擔セシム

第四十二條 本法若ハ本法ニ基キテ發スル命令又ハ之ニ依リテ爲ス處分ニ依ル義務ヲ履行スル爲ニ要ナル費用ハ法令ニ別段ノ定アル場合ヲ除クノ外義務者ノ負擔トス

第四十三條 道路ニ關スル費用ノ負擔金ハ費用負擔者カ道路ニ關スル工事ノ執行又ハ道路ノ維持ヲ爲ス場合ヲ除クノ外第三十三條第一項ノ主トシテ軍事ノ目的ヲ有スル國道其ノ他主務大臣ノ指定スル國道ノ新設又ハ改築ニ要スルモノニ在リテハ國庫、其ノ他ノモノニ在リテハ管理者タル行政

應ノ統轄スル公共團體ノ收入トス
前項ノ費用負擔者カ公共團體ナル場合ニ於テ之ヲ統轄スル行政廳又ハ行政廳タル管理者カ道路ニ
關スル工事ノ執行又ハ道路ノ維持ヲ爲ストキハ前項ノ規定ノ適用ニ付テハ費用負擔者之ヲ爲スモ
ノト看做ス

第四十一條ノ規定ニ依ル負擔金ハ前二項ノ例ニ依リ國庫又ハ公共團體ノ收入トス

第四十四條 道路ノ占用料其ノ他道路ヨリ生スル收益ハ管理者タル行政廳ノ統轄スル公共團體ノ收
入トス但シ第二十六條ノ規定ニ依リ許可又ハ承認ヲ得テ徵收スル橋錢又ハ渡錢ハ其ノ許可又ハ承
認ヲ得タル者ノ收入トス

第四十五條 道路ニ關スル工事ノ爲必要アルトキハ管理者ハ沿道ノ土地ニ立入り又ハ其ノ土地ヲ一
時材料置場トシテ使用スルコトヲ得

前項ノ規定ニ依ル立入又ハ使用ヲ爲サムトスルトキハ已ムヲ得サル場合ヲ除クノ外豫メ土地ノ占
有者ニ通知スルコトヲ要ス

第四十六條 非常災害ノ爲必要アル時ハ管理者ハ道路附近ニ居住スル者ヲ使役シ、道路附近ノ土地
ヲ一時使用シ又ハ土石、竹木其ノ他物品ヲ使用若ハ收用スルコトヲ得

第四十七條 前二條ノ規定ニ依ル立入、使用、使役又ハ收用ニ因リ現ニ生シタル損害ハ立入、使用、
使役又ハ收用ノ後三月内ニ管理者之ヲ補償スヘシ

第四十八條 沿道ノ土地、竹木又ハ工作物ノ管理者ハ其ノ土地、竹木又ハ工作物ノ道路ニ及ホスヘ
キ損害ヲ豫防スル爲必要ナル施設ヲ爲スヘシ

第四十九條 道路ノ使用又ハ道路若ハ其ノ交通ノ保全ニ關スル規定ハ命令ヲ以テ之ヲ定ム沿道ノ土
地ニ於ケル工作物ノ建設其ノ他ノ作爲又ハ不作爲ノ制限ニシテ道路又ハ其ノ交通ノ保全ノ目的ヲ
以テスルモノニ付亦同シ

第五十條 沿道ノ區域ハ管理者之ヲ定ム

第五章 監督及罰則

第五十一條 左ニ掲クル場合ニ於テハ管理者ハ本法若ハ本法ニ基キテ發スル命令ニ依リテ其ノ爲シ
タル許可承認ヲ取消シ其ノ效力ヲ停止シ若ハ其ノ條件ヲ變更シ、道路ニ存スル工作物其ノ他ノ物
件ヲ改築除却セシメ若ハ之ニ因リテ生スヘキ損害ヲ豫防スル爲必要ナル施設ヲ爲サシメ又ハ原狀
回復ヲ爲サシムルコトヲ得

一 道路ニ關スル法令ノ規定ニ違反シタルトキ

- 二 道路ニ關スル法令ノ規定ニ依ル許可又ハ承認ノ條件ニ違反シタルトキ
- 三 詐欺ノ手段ヲ以テ道路ニ關スル法令ノ規定ニ依ル許可ヲ得タルトキ
- 四 道路ニ關スル工事ノ爲必要アルトキ
- 五 公益上必要ト認ムルトキ

前項第五號ノ場合ニ於テ損害ヲ受ケタル者アルトキハ管理者ハ道路ニ關スル工事ノ費用ヲ負擔スル者ヲシテ其ノ損害ノ全部又ハ一部ヲ補償セシムルコトヲ得

前二項ノ規定ハ主務大臣カ第二十九條ノ規定ニ依リテ其ノ爲シタル許可若ハ承認ヲ取消シ、其ノ效力ヲ停止シ又ハ其ノ條件ヲ變更スル場合ニ之ヲ準用ス

第五十二條

左ニ掲クル事項又ハ其ノ變更廢止若ハ取消ハ第一號ニ在リテハ行政廳ニ於テ、其ノ他ニ在リテハ管理者ニ於テ監督官廳ノ認可ヲ受クヘシ但シ主務大臣ハ輕易ナル事件ニ限り命令ヲ以テ認可ヲ受ケシメサルノ定ヲ爲スコトヲ得

- 一 國道以外ノ道路ノ路線ヲ認定スルコト
- 二 道路又ハ沿道ノ區域ヲ定ムルコト
- 三 道路ノ新設又ハ改築ヲ爲スコト

四 第二十一條乃至第二十三條ノ規定ニ依リ道路ニ關スル工事ヲ執行セシメ又ハ道路ノ維持ヲ爲サシムルコト

- 五 第二十四條又ハ第二十六條ノ規定ニ依ル許可又ハ承認ヲ爲スコト
- 六 第二十五條ノ規定ニ依リ他ノ工事ヲ執行スルコト
- 七 第二十七條ノ規定ニ依リ橋錢又ハ渡錢ヲ徵收スル橋梁又ハ渡船場ヲ設クルコト
- 八 第二十八條ノ規定ニ依リ道路ノ占用ヲ許可若ハ承認シ又ハ道路ノ占用料ヲ徵收スルコト
- 九 第三十七條乃至第四十一條ノ規定ニ依リ費用ヲ負擔セシムルコト
- 十 前條第一項又ハ第二項ノ規定ニ依ル處分ヲ爲スコト

第五十三條 監督官廳ハ監督上必要ト認ムルトキハ前條ノ行政廳又ハ管理者ニ對シ前條各號ニ掲クル事項又ハ其ノ變更廢止若ハ取消ヲ命シ其ノ他命令ヲ發シ又ハ處分ヲ爲スコトヲ得

第五十四條 行政執行法第五條及第六條ノ規定竝之ニ基キテ發スル命令ハ本法若ハ本法ニ基キテ發スル命令又ハ之ニ依リテ爲ス處分ニ依リ行フヘキ作爲又ハ不作爲ヲ管理者カ強制スル場合ニ之ヲ準用ス

第五十五條 本法若ハ本法ニ基キテ發スル命令又ハ之ニ依リテ爲ス處分ニ依リ義務ニ關スル負擔

金、占用料、橋錢、渡錢其ノ他ノ費用ハ管理者國稅滯納處分ノ例ニ依リ之ヲ徵收スルコトヲ得
前項ノ規定ニ依ル徵收金ノ先取特權ノ順位並其ノ追徵還付及時效ニ付テハ管理者タル行政廳ノ統
轄スル公共團體ノ徵收金ノ例ニ依ル

第五十六條 左ノ各號ノ一ニ該當スル者ハ三百圓以下ノ罰金又ハ科料ニ處ス

- 一 許可ヲ得スシテ道路若ハ其ノ附屬物ニ關スル工事ヲ執行シ又ハ道路若ハ其ノ附屬物ヲ占用シタル者
- 二 許可ヲ得スシテ橋梁又ハ渡船場ノ使用ニ對シ橋錢、渡錢其ノ他ノ財物ノ交付ヲ請求シタル者
- 三 道路ノ使用ニ對シ路錢其ノ他ノ財物ノ交付ヲ請求シタル者
- 四 詐欺ノ手段ヲ以テ許可ヲ得タル者
- 五 正當ノ事由ナクシテ第四十六條ノ規定ニ依ル管理者ノ命ニ從ハサル者
- 六 第四十八條又ハ第二條及第四十八條ノ規定ニ違反シテ道路又ハ其ノ附屬物ニ及ホスヘキ損害ヲ豫防スル爲必要ナル施設ヲ爲ササル者

第六章 訴願及訴訟

第五十七條 本法又ハ本法ニ基キテ發スル命令ニ規定シタル事項ニ付主務大臣又ハ管理者ノ爲シタ

ル處分ニ不服アル者ハ訴願スルコトヲ得

本法ニ依リ行政裁判所ニ出訴スルコトヲ得ル場合ニ於テハ主務大臣ニ訴願スルコトヲ得ス

第五十八條 本法又ハ本法ニ基キテ發スル命令ニ規定シタル事項ニ付主務大臣又ハ管理者ノ爲シタル違法處分ニ因リ權利ヲ毀損セラレタリトスル者ハ行政裁判所ニ出訴スルコトヲ得

第五十九條 第四十七條ノ規定ニ依リ補償ヲ受クヘキ者同條ノ規定スル期間内ニ其ノ決定ノ通知ヲ受ケタル場合ニ於テ補償ニ不服アルトキハ通知後六月内ニ、同條ノ規定スル期間内ニ其ノ決定ノ通知ヲ受ケサル場合ニ於テハ其ノ期間經過後六月内ニ通常裁判所ニ出訴スルコトヲ得此ノ場合ニ於テハ訴願シ又ハ行政裁判所ニ出訴スルコトヲ得ス

第七章 雜則

第六十條 本法中府縣、府縣知事、府縣廳又ハ府縣道ニ關スル規定ハ北海道ニ付テハ道、道廳長官、道廳又ハ地方費道ニ關シ市、市長、市役所又ハ市道ニ關スル規定ハ北海道ニ付テハ區、區長、區役所又ハ區道ニ關シ郡役所ニ關スル規定ハ北海道ニ付テハ支廳、島ニ付テハ島廳ニ關シ之ヲ適用ス

第六十一條 北海道ニ付テハ道路ノ種類、等級及路線ノ認定並第三十三條乃至第三十六條、第四十

三條、第四十四條及第五十二條ノ規定ニ關シ勅令ヲ以テ特別ノ定ヲ爲スコトヲ得

第六十二條 道路ノ路線ノ認定ノ變更廢止其ノ他ノ場合ニ於テ不用ニ歸シタル道路及其ノ附屬物ヲ構成シタル物件並材料器具機械等ノ管理及處分ニ付テハ勅令ヲ以テ特別ノ定ヲ爲スコトヲ得前項ノ變更廢止ノ場合ニ於テ道路及其ノ附屬物ヲ構成シタル物件ハ勅令ヲ以テ定ムル期間ノ滿了スル迄第六條ノ規定ヲ之ニ準用シ土地收用法中第六十六條ノ規定及之ヲ準用スル規定ノ適用ニ付テハ不用ニ歸セサルモノト看做ス

第六十三條 左ニ掲クル法令ノ規定ハ本法ニ依ル道路ニ關シ之ヲ適用セス

- 一 明治四年十二月十四日布告治水修路架橋等運輸ノ便利ヲ興ス者ニ税金取立方許可ニ關スル件
- 二 明治十一年七月二十二日達郡區町村編制府縣會規則地方稅規則施行順序ニ關スル件第十二項

三 明治十二年二月二十七日達河港道路堤防橋梁費ヲ舊慣ニ因リ支辨シ得ル件

四 陸地測量標條例第二條

五 水路測量標條例第二條

六 電信線電話線建設條例第一條、第四條及第五條

七 軍用電信法第四條第二項ノ規定ニ依リ準用スル電信線電話線建設條例第一條、第四條及第五條

八 河川法第十條第二項、第十一條及第三十二條

九 砂防法第八條及第十六條

十 私設鐵道法第四十二條

十一 輕便鐵道法第五條ノ規定ニ依リ準用スル私設鐵道法第四十二條

十二 電氣事業法第九條

十三 大正三年法律第三十七號

附則

第六十四條 本法施行ノ期日ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム（大正八年十一月勅令第四五九號ヲ以テ同九年四月一日ヨリ施行）

第六十五條 左ニ掲クル法令ハ之ヲ廢止ス

- 一 明治五年第三百二十五號布告
- 二 明治六年第四十六號布告

- 三 明治六年第四百十三號達
- 四 明治九年第六十號達
- 五 明治十八年第一號布達
- 六 明治二十年勅令第二十八號

第六十六條 本法施行前爲シタル處分及之ニ附シタル條件ハ本法又ハ本法ニ基キテ發スル命令ニ牴觸セサル限り本法ニ依リ爲シタル處分及之ニ附シタル條件ト看做ス

第六十七條 本法ニ依リ管理者ノ許可又ハ承認ヲ受ケタルモノト看做ス但シ管理者ハ本法施行ノ日ヨリ三月内ニ六月ヲ下ラサル期間ヲ指定シ其ノ期間經過後ハ許可又ハ承認ノ效力ヲ失フヘキ旨ヲ告示スルコトヲ得

第六十八條 本法施行前爲シタル處分ニ關スル訴願又ハ行政訴訟ニ付テハ仍從前ノ例ニ依ル

附 則 (大正十一年三月二十日法律第三號)

本法中第二十條、第三十三條、第四十三條及第六十條ノ改正規定ノ施行期日ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム(大正十一年八月勅令第三八三號ヲ以テ同十二年四月一日ヨリ施行)

其ノ他ノ規定ハ大正十年法律第六十三號第一條施行ノ日ヨリ之ヲ施行ス但シ同法附則但書ノ規定ニ依リ別ニ其ノ施行ノ期日ヲ定ムル府縣ニ付テハ其ノ日ヨリ之ヲ施行ス

○專用鐵道規程

(大正八年八月十三日
閣令第十九號)

第一條 本規程ハ道府縣其ノ他ノ公共團體又ハ私人カ專用ニ供スル爲敷設スル鐵道ニシテ左ノ各號ノ一ニ該當スルモノニ之ヲ適用ス

- 一 公衆ノ用ニ供スル鐵道又ハ軌道ト直通スルモノ
- 二 公衆ノ用ニ供スル鐵道又ハ軌道ト連絡スルモノ但シ人力又ハ馬力ヲ動力トスルモノヲ除ク
- 三 前各號ノ專用鐵道ト直通スルモノ

第二條 專用鐵道ヲ敷設セムトスル者ハ申請書ニ使用ノ目的ヲ記載シ鐵道ヲ敷設セムトスル地ヲ管轄スル地方長官ヲ經由シ左ノ書類及圖面ヲ提出シ主務大臣ノ免許ヲ受クヘシ

一 線路實測圖

專用鐵道規程

二 工事方法書
三 建設費豫算書

四 他ノ鐵道又ハ軌道ト連絡又ハ直通ニ關スル協定書ノ謄本

第三條 免許ニハ工事ノ著手及竣功ノ期限ヲ附ス

前項ノ期限ハ天災事變其ノ他已ムコトヲ得サル事由アル場合ニ限り其ノ伸長ヲ申請スルコトヲ得

第四條 工事ニ著手シタルトキハ一週間以内ニ監督官廳ニ之ヲ届出ツヘシ

第五條 免許ヲ受ケタル者ハ運轉、信號及列車保安ニ關スル規定ヲ定メ監督官廳ノ認可ヲ受クヘシ

之ヲ變更スルトキ亦同シ

第六條 專用鐵道ノ運轉ノ管理ノ委託ヲ爲サムトスルトキハ申請書ニ運轉ノ管理ノ委託ニ關スル協

定書ノ謄本ヲ添附シ監督官廳ノ許可ヲ受クヘシ

第七條 運輸ヲ開始シタルトキハ遲滞ナク監督官廳ニ之ヲ届出ツヘシ

第八條 專用鐵道ヲ讓渡セムトスルトキハ讓受人ト連署シ鐵道ヲ敷設スル地ヲ管轄スル地方長官ヲ

經由シ監督官廳ノ許可ヲ受クヘシ

第九條 專用鐵道ハ監督官廳ノ認可ヲ受クルニ非サレハ使用ノ目的ニ屬セサル物品運送ノ用ニ供ス

ルコトヲ得ス

第十條 監督官廳ハ公益上必要アリト認ムルトキハ工事方法、運轉、信號又ハ列車保安方法ノ變更ヲ命スルコトヲ得

第十一條 免許ヲ受ケスシテ專用鐵道ヲ敷設シ又ハ認可ヲ受ケスシテ運輸ヲ開始シタル者ハ百圓以下ノ罰金ニ處ス

前項ノ規定ハ公共團體カ專用鐵道ヲ敷設スル場合ニ之ヲ適用セス

第十二條 地方鐵道法第十一條、第十六條、第十七條、第十九條第一項第三號、同條第二項、第二十條、第二十三條、第二十五條、第三十七條第一項、第三十九條、第四十條、地方鐵道法施行規則第三條、第十一條、第十二條、第十七條、第十八條、第二十條、第二十一條、第二十六條、第五十二條、地方鐵道建設規程第十九條、第二十一條、第三十條ノ規定ハ專用鐵道ニ之ヲ準用ス

附 則

本令ハ大正八年八月十五日ヨリ之ヲ施行ス

專用鐵道規則ハ之ヲ廢止ス

本令ニ依リ免許、許可又ハ認可ヲ受クヘキ事項ニシテ舊規則ニ依リ免許、許可又ハ認可ヲ受ケタル

モノハ本令ニ依リ免許、許可又ハ認可ヲ受ケタルモノト看做ス
舊規則ニ依リテ爲シタル處分、手續其ノ他ノ行爲ハ本令中之ニ相當スル規定アル場合ニ於テハ本令ニ依リテ之ヲ爲シタルモノト看做ス

○軌道法第一條第二項ノ規定ニ依ル一般交通ノ用ニ供

セサル軌道ニ關スル件

(大正十二年十二月二十九日
內務省令第四五號)

- 第一條** 一般交通ノ用ニ供セサル軌道ヲ道路ニ敷設セムトスル者ハ地方長官ノ許可ヲ受クヘシ
- 第二條** 明治四十三年內務省令第二十七號第一條乃至第五條ノ規定ハ前條ノ許可申請ニ之ヲ準用ス
許可申請書ニハ運轉及信號ニ關スル方法ヲ記載スヘシ
- 第三條** 地方長官第一條ノ許可ヲ爲サムトスルトキハ軌道ノ敷設ニ關シ關係道路管理者ノ意見ヲ徵スヘシ
- 第四條** 大正八年閣令第十九號專用鐵道規程第三條、第四條、第七條乃至第十條ノ規定ハ本令ニ規

定スル軌道ニ之ヲ準用ス但シ監督官廳トアルハ地方長官トス

- 第五條** 軌道法第十二條、第十八條、第十九條及第二十四條ノ規定ハ本令ニ規定スル軌道ニ之ヲ準用ス但シ主務大臣トアルハ地方長官トス
- 第六條** 許可ヲ受ケタル者カ法令若ハ法令ニ基キテ爲ス命令又ハ許可若ハ認可ニ附シタル條件ニ違反シ其ノ他公益ヲ害スル行爲ヲ爲シタルトキハ地方長官ハ許可ノ全部又ハ一部ヲ取消スコトヲ得
- 第七條** 許可ヲ得スシテ本令ニ規定スル軌道ヲ敷設シタル者ハ百圓以下ノ罰金ニ處ス

附則

本令ハ大正十三年一月一日ヨリ之ヲ施行ス
本令ニ規定スル軌道ニシテ本令施行ノ際現ニ存スルモノハ本令ニ依リ許可ヲ受ケタルモノト看做ス但シ地方長官ハ本令施行ノ日ヨリ三月内ニ六月ヲ下ラサル期間ヲ指定シ其ノ期間經過後許可ノ效力ヲ失フヘキ旨ヲ告示スルコトヲ得

昭和十五年七月一日印刷
昭和十五年七月五日發行

定價金貳圓

編纂所

鐵道省監督局總務課內
鐵道令規研究会

編輯者

東京市四谷區西信濃町五番地
山岡儀助

發行者

東京市中野區大和町二四五番地
坪崎信正

印刷人

東京市牛込區西五軒町五十二番地
長南善次郎

印刷所

東京市牛込區西五軒町五十二番地
行政學會印刷所

發行所

東京市麴町區丸の内三丁目四番地
鐵道同志會

電話丸の内(23)一六八四番
振替東京五一四七九番

906
30

終

